

令和7年度

県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事

図面リスト

A-00	図面タイトル・図面リスト	NO-SCALE	A-11	(改修図) 断面詳細図(2)・平面詳細図・部分詳細図	1/5 1/30
A-01	改修工事特記仕様書(1)	NO-SCALE	A-12	(改修図) 天井伏図	1/100
A-02	改修工事特記仕様書(2)	NO-SCALE	A-13	(改修図) 建具表・建具詳細図	1/5 1/100
A-03	改修工事特記仕様書(3)	NO-SCALE	A-14	(改修図) 家具詳細図	1/20 1/30
A-04	配置図・付近見取図・改修工事仕様概要・改修工事概要	1/1000	A-15	(改修図) 教室棟1立面劣化補修図	1/100
A-05	(改修図) 外部改修仕上表 内部改修仕上表	NO-SCALE	A-16	(改修図) 教室棟2立面劣化補修図	1/100
A-06	(改修図) 平面図・建具配置図	1/100	A-17	(参考図) 仮設計画図	1/100
A-07	(改修図) 教室棟1 立面図	1/100			
A-08	(改修図) 教室棟2 立面図	1/100			
A-09	(改修図) 断面図	1/100			
A-10	(改修図) 断面詳細図(1)	1/30			

鳥取県
令和7年度
J2500239
西部環境建築局

松岡設計室

鳥取県知事 登録番号 03-1333
管理建築士 (一級建築士登録番号236773号) 松岡 稔

TITLE / SUBJECTS

県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事

図面タイトル・図面リスト

SCALE

NO-SCALE

DRAW



DATE

2025.09

DRAW NO.

A - 00

図面縮小率 A3 70.7%

Table with 3 columns: ③ 防水改修工事, ⑦ 塗膜防水, ⑧ シーリング. Includes details on waterproofing methods, materials, and application techniques.

Table with 3 columns: ① ひび割れ部改修工法, ② 欠損部改修工法, ③ 浮き部改修工法. Details repair methods for cracks, missing parts, and delamination.

Table with 3 columns: ④ 外壁検査改修工法, ⑤ 建築改修工事, ⑥ 網戸等. Covers exterior inspection/repair, building renovation, and window treatments.

Table with 3 columns: ⑦ 建具用金物, ⑧ 網戸等. Details hardware specifications and window mesh requirements.



<p>⑬ ガラス [5.14.2~4]</p> <p>下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスの種類、組合せ</td> <td>落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>・フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類</td> </tr> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスの種類による名称</td> <td>材料板ガラス</td> <td>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>・フロート強化ガラス</td> <td>・フロート板ガラス</td> <td>・Ⅰ類 ・Ⅲ類</td> </tr> </table> <p>熱線吸収ガラスの材料板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスによる種類</td> <td>性能による種類</td> <td>色調</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>・グリーン</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複層ガラスの材料板ガラスの種類、厚さの組合せ及び複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>断熱性による区分</td> <td>乾燥気体の種類</td> </tr> <tr> <td>・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ○T5 ・T6</td> <td>・空気 ○アルゴン</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>日射取得性、日射遮蔽性による区分</td> <td>乾燥気体の種類</td> </tr> <tr> <td>・G ・S</td> <td>・空気 ・アルゴン</td> </tr> </table> <p>熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスによる種類</td> <td>日射遮蔽性による区分</td> <td>耐久性による区分</td> </tr> <tr> <td>色調 (・ブルー ・グレー</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> <td>A類 ・A類 ・B類 B類</td> </tr> </table> <p>反射被膜面 ・ 内面 映像調整 ・ 行わない ・ 外面 ・ 行</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <td>建具の種類</td> <td>ガラスの留め材</td> <td>ガラス溝の大きさ (mm)</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td> <td>※建具の製造所の仕様による</td> </tr> </table>	材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類	・フロート板、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類	材料板ガラスの種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類	材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・グリーン	・熱線吸収網入り磨き板ガラス			断熱性による区分	乾燥気体の種類	・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ○T5 ・T6	・空気 ○アルゴン	日射取得性、日射遮蔽性による区分	乾燥気体の種類	・G ・S	・空気 ・アルゴン	材料板ガラスによる種類	日射遮蔽性による区分	耐久性による区分	色調 (・ブルー ・グレー	・1種 ・2種 ・3種	A類 ・A類 ・B類 B類	建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による	鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による	ステンレス製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による	樹脂製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による	<p>⑦ 塗装改修工事</p> <p>① 材料 [7.1.3]</p> <p>② 下地調整 [7.2.1~7]</p> <p>④ 仕上げ塗料塗り [7.5.2~7.12.2]</p> <p>⑩ その他</p> <p>⑫ 溶接金網 [5.2.2]</p> <p>⑬ 接着剤 [19.2.2]</p> <p>⑭ ビニル幅木 [19.2.2]</p> <p>⑮ フローリング張り [19.5.2~6] (表19.5.1~5)</p>	<p>① 材料 [7.1.3]</p> <p>② 下地調整 [7.2.1~7]</p> <p>④ 仕上げ塗料塗り [7.5.2~7.12.2]</p> <p>⑩ その他</p> <p>⑫ 溶接金網 [5.2.2]</p> <p>⑬ 接着剤 [19.2.2]</p> <p>⑭ ビニル幅木 [19.2.2]</p> <p>⑮ フローリング張り [19.5.2~6] (表19.5.1~5)</p>	<p>⑩ その他</p> <p>⑫ 溶接金網 [5.2.2]</p> <p>⑬ 接着剤 [19.2.2]</p> <p>⑭ ビニル幅木 [19.2.2]</p> <p>⑮ フローリング張り [19.5.2~6] (表19.5.1~5)</p>	<p>⑫ 溶接金網 [5.2.2]</p> <p>⑬ 接着剤 [19.2.2]</p> <p>⑭ ビニル幅木 [19.2.2]</p> <p>⑮ フローリング張り [19.5.2~6] (表19.5.1~5)</p>	<p>⑮ フローリング張り [19.5.2~6] (表19.5.1~5)</p>
材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性及びショットバック衝撃特性による種類																																																				
・フロート板、フロート板合わせガラス	・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類																																																				
材料板ガラスの種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類																																																			
・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・Ⅰ類 ・Ⅲ類																																																			
材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調																																																			
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・グリーン																																																			
・熱線吸収網入り磨き板ガラス																																																					
断熱性による区分	乾燥気体の種類																																																				
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ○T5 ・T6	・空気 ○アルゴン																																																				
日射取得性、日射遮蔽性による区分	乾燥気体の種類																																																				
・G ・S	・空気 ・アルゴン																																																				
材料板ガラスによる種類	日射遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																			
色調 (・ブルー ・グレー	・1種 ・2種 ・3種	A類 ・A類 ・B類 B類																																																			
建具の種類	ガラスの留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																			
アルミニウム製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による																																																			
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																			
ステンレス製	※シーリング材	※建具の製造所の仕様による																																																			
樹脂製	※シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※建具の製造所の仕様による																																																			
				<p>⑫ 溶接金網 [5.2.2]</p> <p>⑬ 接着剤 [19.2.2]</p> <p>⑭ ビニル幅木 [19.2.2]</p> <p>⑮ フローリング張り [19.5.2~6] (表19.5.1~5)</p>	<p>⑮ フローリング張り [19.5.2~6] (表19.5.1~5)</p>																																																

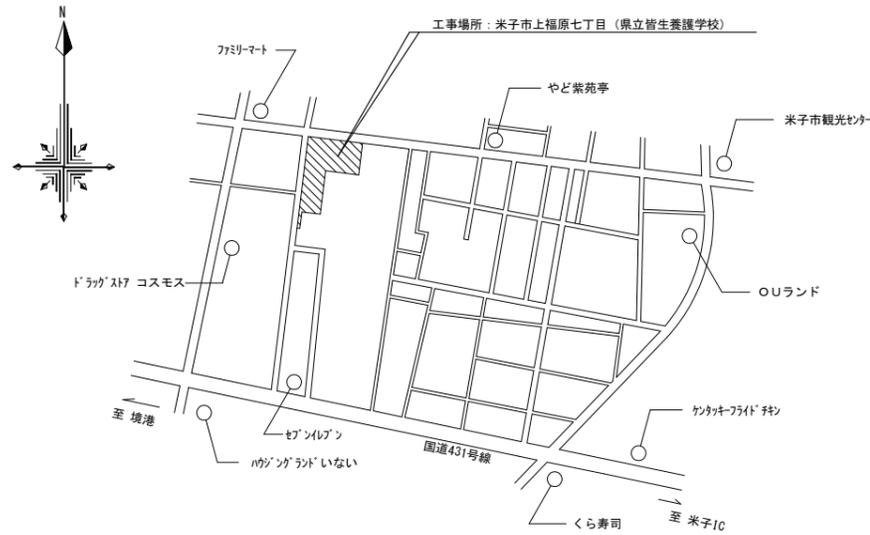


【改修工事仕様概要】

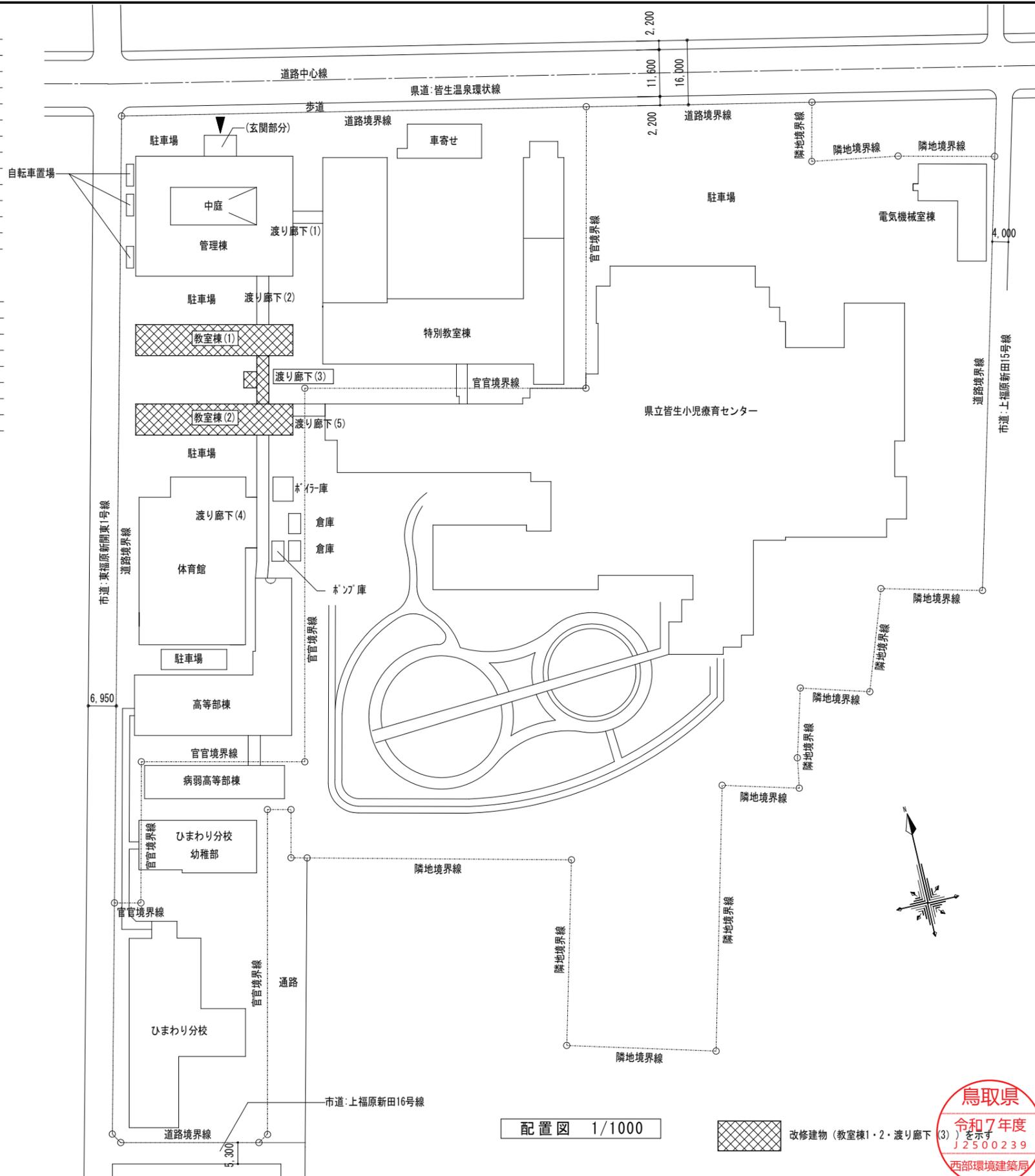
- ・本工事に於いて、公的機関等で事前協議、各種届出手続きが必要な場合は、全て、受注者の責任に於いて行うこと
- ・工事車両の通行に際しては、事故防止に十分注意すること
- ・クレーン車両の使用時は、車両附近に交通誘導員を配置し、通行者及び利用者、周辺建築物、周辺工作物の事故防止に十分注意すること
- ・本工事に伴い、敷地内通路、周辺建物、周辺工作物等に被害、損傷等を与えた場合は、すみやかに監督員に報告すると共に、請負業者の責任に於いて復旧すること
- ・本工事に於いて使用する建設機械(クレーン車両、発動発電機含む)は、排出ガス対策型建設機械を使用し、かつ、低騒音型、低振動型を使用すること
- ・本工事に解体撤去作業のホコリ対策についても、頻繁に清掃するなど、塵埃が起きないように十分配慮すること
- ・本工事に伴う不燃物、可燃物及び再生可能物等は、別々に分類し、処分すると共に産業廃棄物処理に関する法律を遵守すること
- ・本工事で撤去された搬出物が、敷地内、道路内等に落下することのないよう、運搬車両に落下防止措置を行うこと
- ・施設利用しながらの工事となるため、安全面等を配慮し、使用上迷惑の掛らないよう施工を行うこと
- ・外部足場設置について、樹木等で支障となる部分がある場合は、監督員と協議を行うこと(軽微な枝払い程度で対応)
- ・外部改修は建物内部が暗い状態になることを避けるため、2回程度に工事区域を分けて、施工を行う事。(仮設計画図参照)
- ・工事作業の業務日、業務時間、車両の通行、その他の事項について、施設側及び監督員と協議の上、施工の事。
- ・外部建具工事については、防犯対策として1日の終わりには閉鎖できる状態とすること。

【改修工事概要】

教室棟1・2 渡り廊下(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・外部足場の設置 ・外壁劣化補修(施行数量調査共) ・防水改修(シーリング打替え・新設(外壁目地・建具廻り等)) ・既存壁面DP塗装 ・外壁仕上塗装(高圧洗浄、下地調整、防水型複層塗材E(外壁)、外装薄塗材E(軒裏)) ・外部金属製建具取替(かぶせ工法、複層ガラス(Low-E T4.0+A6.0+LG(FL3.0)+特殊フィルム60mil+FL3.0)、ガラスシーリング) ・外部金属製建具取替に伴う屋内家具の取替及び外部AC室外機の取外し、再取付
-------------------	---



付近見取図



配置図 1/1000

(3) 改修建物(教室棟1・2・渡り廊下)を示す
 鳥取県 令和7年度 J2500239 西部環境建築局

TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事	1/1000		2025.09	A - 04
配置図・付近見取図・改修工事仕様概要・改修工事概要				

外部改修仕上表 (教室棟1・2共通)							
名称	記号	改修前 改修後	改修内容	名称	記号	改修前 改修後	改修内容
外壁	a	改修前	・コンクリート打放し モルタル塗り下地 複層塗材 E 【高圧水洗い・清掃】	縦樋	g	改修前	・VP-100Φ 【塗装下地調整RC種】 ・スチール樋金物【既設利用】
		改修後	・下地補修(浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修)【新設】 ・下地調整塗材 C-1(セメント系)【新設】 ・防水形複層塗材 E ローラー仕上(ゆず肌状)【新設】			改修後	・既設VP-100Φ DP塗装塗り B-1種【新設】 ・既設100Φ用ステンレス樋金物【磨き・清掃】
柱型・梁型	b	改修前	・コンクリート打放し下地 複層塗材 E【高圧水洗い・清掃】	外部建具	h	改修前	・アルミサッシ 見込み60【撤去・処分】(枠部分は残す)(建具配置図・建具表参照) ・水切り:防水モルタル塗り 塗膜防水【既存のまま】
		改修後	・下地補修(浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修)【新設】 ・下地調整塗材 C-1(セメント系)【新設】 ・防水形複層塗材 E ローラー仕上(ゆず肌状)【新設】			改修後	・アルミサッシかぶせ工法にて改修【新設】(建具配置図・建具表参照) ・アルミニウム重水切り【新設】
基礎(根廻り)	c	改修前	・外周部:コンクリート打放し仕上 下地処理仕上【高圧水洗い・清掃】	軒裏換気パイプ	i	改修前	・塩ビ製パイプ 50φ【既設のまま】 教室棟1:南面:17か所、北面:17か所 教室棟2:南面:17か所、北面:17か所 ・周囲シリング【撤去】
		改修後	・下地補修(浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修)【新設】 ・外周部:樹脂モルタル3.0t【新設】			改修後	・周囲シリング【打替え】:ポリウレタン系(PU-2)・15×10程度
軒天井	d	改修前	・軒天井:コンクリート打放し下地 外装薄塗材 E【高圧水洗い・清掃】	庇	j	改修前	・水切り:防水モルタル塗り 塗膜防水【ケレン・清掃】
		改修後	・下地補修(浮き・亀裂・欠損)【新設】 ・下地調整塗材 C-1(セメント系)【新設】 ・軒天井:外装薄塗材 E ローラー仕上【新設】			改修後	・下地補修(亀裂・浮き補修)【新設】 ・水切り:下地調整(ポリマーセメントペースト)【新設】後、ウレタン塗膜防水 X-2【新設】
鼻隠し	e	改修前	・防水モルタル塗り 弾性複層塗材【※・清掃】	渡り廊下外壁材	k	改修前	・既存外装用防火ライト下地 外装薄塗材吹付【水洗い・清掃】 ・既存目地部シーリング無し
		改修後	・下地補修(亀裂・浮き・欠損部補修)【新設】 ・下地調整塗材 C-1(セメント系)【新設】 ・防水型弾性複層塗材E【新設】(又はウレタン塗膜防水)			改修後	・外装薄塗材E吹付【新設】 ・目地部シーリング ポリウレタン系(PU-2) 10×10程度【新設】
シーリング (打替え・新設)	f	改修前	・外部建具周囲シーリング【撤去・処分】	改修に支障のある 設備機器	l	改修前	・AC室外機【取外し(室外機切除し)・再利用】ドレン管・配管カバー共 2ヶ所(平面図参照)
		改修後	・シーリング【新設】※化粧目地:ポリウレタン系(PU-2) 25×10程度 既存建具廻り:変成シリコン系(MS-2) 15×10程度【新設打ち直し】新設外部建具廻り:ポリウレタン系(PU-2) 15×10程度			改修後	・AC室外機【工事終了後再設置】2ヶ所(平面図参照)

内部改修仕上表 (建具改修に伴う)

教室棟 1 名称	改修前 改修後	改修内容	教室棟 2 名称	改修前 改修後	改修内容
CR(中)	改修前	既存木製戸棚[W900×D600(天板700)×H1,000]・既存木製掃除具入[W350×D500×H1,750]【周囲100程度撤去・処分・カッター切断】 上記撤去部 床:既存フローリングブロック 15t×303×303【一部撤去・処分】 壁:既存モルタル金コテ EP塗装【一部撤去・処分】 巾木:ソフト巾木 H=75【一部両側900程度撤去・処分】 既存カーテン【取外し・再利用】既存カーテンレール【既存のまま】 F・G通り間CR 窓部既存木製手摺 H100×20tビス止め【取外し・再利用】(施工場所:平面図参照) 窓部既存木製額縁(30×50):OP塗り【塗装下地調整RB種】	CR(高)	改修前	既存木製戸棚[W900×D600(天板700)×H1,000]・既存木製掃除具入[W350×D500×H1,750]【周囲100程度撤去・処分・カッター切断】 上記撤去部 床:既存フローリングブロック 15t×303×303【一部撤去・処分】 壁:既存モルタル金コテ EP塗装【一部撤去・処分】 巾木:ソフト巾木 H=75【一部両側900程度撤去・処分】 既存カーテン【取外し・再利用】既存カーテンレール【既存のまま】 F・G通り間CR 窓部既存木製手摺 H100×20tビス止め【取外し・再利用】 窓部既存木製額縁(30×50):OP塗り【塗装下地調整RB種】
	改修後	新設木製戸棚[W880×D700]×H1,000【新設】、新設木製掃除具入[W350×D500×H1,800]【新設】 上記撤去跡 床:フローリングブロック なら 15t×303×303【新設】 壁:モルタル金コテ20t【新設】EP塗装補修【塗装新設・素地ごしらえ共】 巾木:ソフト巾木 H=75【両側900程度新設】 既存カーテン【再取付】 F・G通り間CR 窓部既存木製手摺 H100×20tビス止め【取外し・再利用】(施工場所:平面図参照) 窓部既存木製額縁(30×50):SOP塗り B種【新設】 サッシ改修かぶせ工法取合部シーリング(MS-2) 下15×10程度【新設】上・横10×10程度【新設】		改修後	新設木製戸棚[W880×D700]×H1,000【新設】、新設木製掃除具入[W350×D500×H1,800]【新設】 上記撤去跡 床:フローリングブロック なら 15t×303×303【新設】 壁:モルタル金コテ20t【新設】EP塗装補修【塗装新設・素地ごしらえ共】 巾木:ソフト巾木 H=75【両側900程度新設】 既存カーテン【再取付】 F・G通り間CR 窓部既存木製手摺 H100×20tビス止め【取外し・再利用】 窓部既存木製額縁(30×50):SOP塗り B種【新設】 サッシ改修かぶせ工法取合部シーリング(MS-2) 下15×10程度【新設】上・横10×10程度【新設】
男子WC	改修前		男子WC	改修前	既存ブラインド【取外し・再利用】
	改修後	サッシ改修かぶせ工法取合部シーリング(MS-2) 15×10程度【新設】		改修後	既存ブラインド【再取付】 サッシ改修かぶせ工法取合部シーリング(MS-2) 15×10程度【新設】
女子WC	改修前	既存ブラインド【取外し・再利用】	女子WC	改修前	既存ブラインド【取外し・再利用】
	改修後	既存ブラインド【再取付】 サッシ改修かぶせ工法取合部シーリング(MS-2) 15×10程度【新設】		改修後	既存ブラインド【再取付】 サッシ改修かぶせ工法取合部シーリング(MS-2) 15×10程度【新設】

<特記事項>

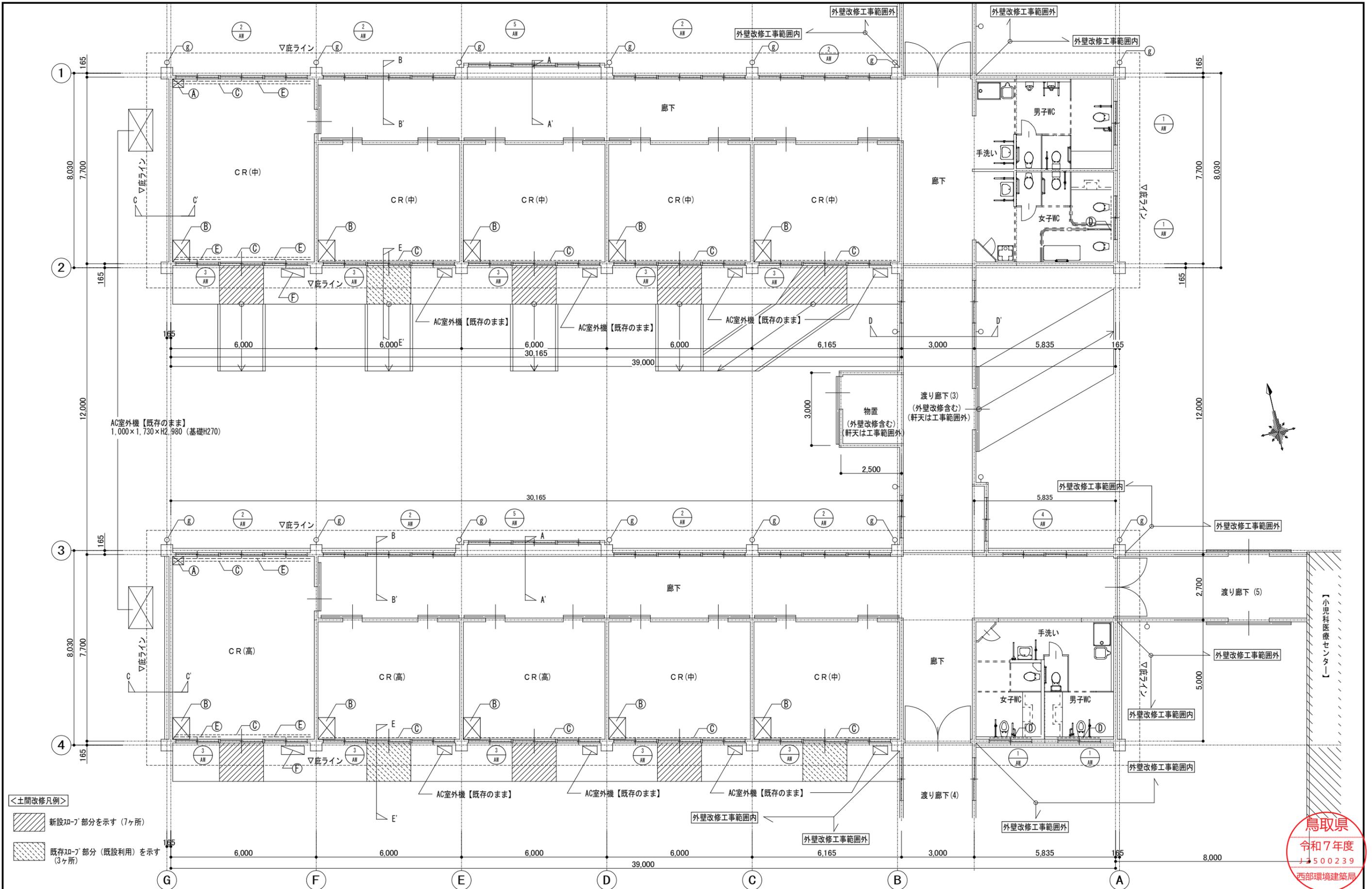
1. 施工に先立ち、事前調査(目視・打診等)を実施し、報告書及び施工計画書を作成後監督員と協議を行い、承認を得て施工すること。
事前調査範囲は、設計図書を基に、監督員と協議し確認すること。
2. 外壁・軒裏における既存吹付材はアスベスト含有が存在しない為、高圧水洗いとする。
3. 「※高圧水洗・清掃」とあるは、高圧水洗(高圧ポンプ30~50MPa程度)「水洗い・清掃」とあるは(高圧ポンプ10~15MPa程度)とする。
4. 建具改修部分のガラスは全て複層ガラス(1枚はUVカットガラス)とし、省エネ等級☆☆☆☆とする。
5. 外部建具改修においては、養生パネル等は見込みないので、防犯の観点から、その日の内にサッシを撤去・新設しガラス設置までを行う事。
6. 仮設足場設置に支障のある樹木については、監督員と協議の上、伐採・枝払いとする。

7. 外壁等の劣化補修方法については下記による(数量:外壁劣化状況図参照)

- | | |
|--|--|
| ・コンクリート打放し面(設計時のコンクリート打放し状況による補修方法) | ・モルタル面(設計時のモルタル状況による補修方法) |
| 浮き0.25㎡未満【注入口付アカーベシニング】部分球*杉樹脂注入工法】 | 浮き0.25㎡未満【注入口付アカーベシニング】部分球*杉樹脂注入工法】 |
| 浮き部(0.25㎡以上)【注入口付アカーベシニング】全面球*杉樹脂注入工法】 | 浮き部(0.25㎡以上)【注入口付アカーベシニング】全面球*杉樹脂注入工法】 |
| ひび割れ0.2mm以上~1.0mm以下【樹脂注入工法硬質形球*杉樹脂】 | ひび割れ~1.0mm以下【樹脂注入工法硬質形球*杉樹脂】 |
| ひび割れ1.0mm以上【Uカットシール材注入工法可とう性球*杉樹脂】 | ひび割れ1.0mm以上【Uカットシール材注入工法可とう性球*杉樹脂】 |
| 爆裂・鉄筋露出(表面の軽微な欠損)【充てん工法球*杉樹脂Eタイプ】 | 爆裂・鉄筋露出(表面の軽微な欠損)【充てん工法球*杉樹脂Eタイプ】 |
| 浅い欠損(表面の軽微な欠損)【充てん工法球*リマセメントタイプ】 | 浅い欠損(表面の軽微な欠損)【充てん工法球*リマセメントタイプ】 |

【 】内は改修内容を示す。	<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">松岡設計室</p> 鳥取県知事 登録番号 03-1333 管理建築士 (一級建築士登録番号236773号) 松岡 稔	TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
		県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事	NO-SCALE		2025.09	A - 05
		(改修図) 外部改修仕上表 内部改修仕上表				





- <土間改修凡例>
- 新設20-7部分を示す (7ヶ所)
 - 既存20-7部分 (既設利用) を示す (3ヶ所)

<凡例>	① ブラインド【取外し・再取付】
Ⓐ 木製掃除道具入れ (寸法は仕上表参照)【撤去・処分・新設】	Ⓔ 木製手摺 (H100×20t)【取外し・再取付】
Ⓑ 木製戸棚 (寸法は仕上表参照)【撤去・処分・新設】	Ⓕ AC室外機【取外し・再設置】
Ⓒ カーテン【取外し・再取付】	▽ (g) 改修箇所を示す (仕上表記号)

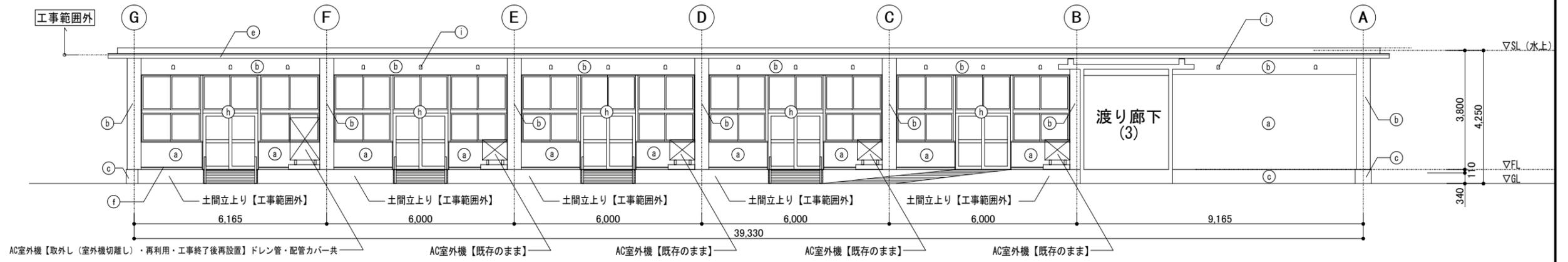
図面縮小率 A3 70.7%

松岡設計室

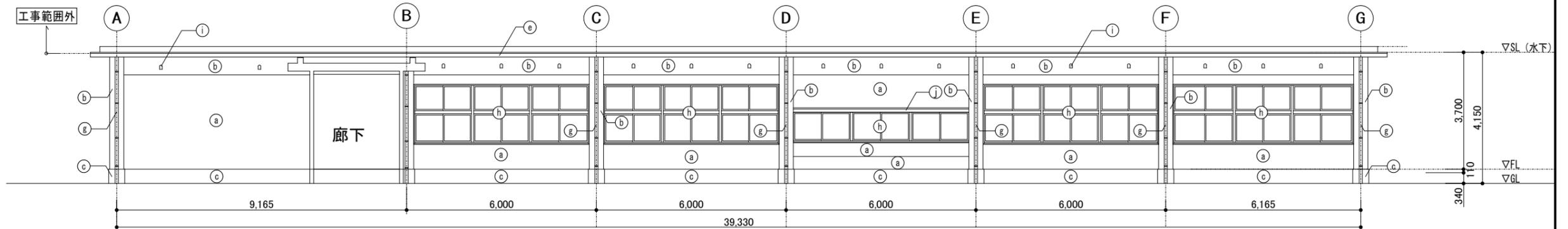
鳥取県知事 登録番号 03-1333
管理建築士 (一級建築士登録番号236773号) 松岡 稔

TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事 (改修図) 平面図・建具配置図	1/100		2025.09	A - 06

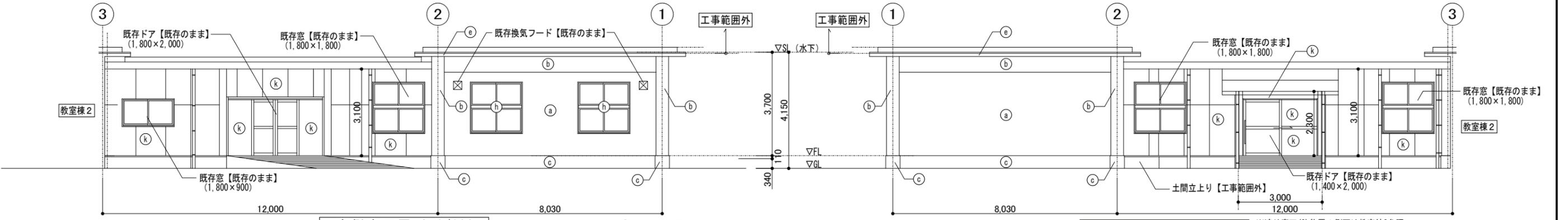
鳥取県
令和7年度
J-2500239
西部環境建築局



南側立面図 S=1/100



北側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

西側立面図 S=1/100

※渡り廊下は外壁ボード塗装改修 (k) 以外工事範囲外とする

※渡り廊下(3) 物置の側面は教室棟2参照
※渡り廊下(3) は外壁ボード塗装改修 (k) 以外工事範囲外とする

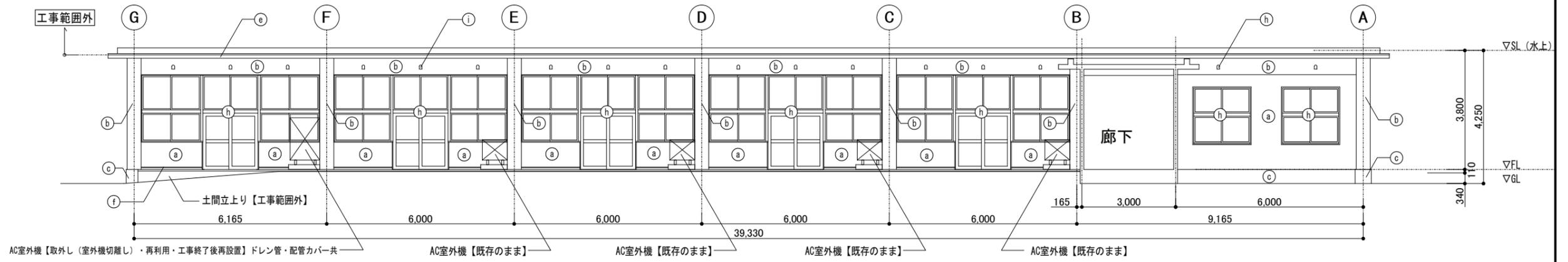
仕上凡例

記号	改修前 改修後	改修内容	記号	改修前 改修後	改修内容	記号	改修前 改修後	改修内容
a	改修前	・コンクリート打放し モルタル塗り下地 複層塗材 E【高圧水洗い・清掃】	e	改修前	・防水モルタル塗り 弾性複層塗材【高圧水洗い・清掃】	i	改修前	・塩ビ製パイプ50φ【既存のまま】 教室棟1：南面：17か所、北面：17か所 教室棟2：南面：17か所、北面：17か所 ・周囲シーリング【撤去】
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・下地補修（亀裂・浮き・欠損部補修）【新設】・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】 ・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・周囲シーリング【打替え】：ポリウレタン系（PU-2）・幅15mm程度
b	改修前	・コンクリート打放し下地 弾性複層塗材【高圧水洗い・清掃】	f	改修前	・化粧目地【既存のまま】	j	改修前	・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【ケレン・清掃】
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・シーリング【新設】※化粧目地：ポリウレタン系（PU-2） 25×10程度		改修後	・下地補修（亀裂・浮き補修）【新設】 ・水切り：下地調整（ポリマーセメントペースト）【新設】ウレタン塗膜防水 X-2【新設】
c	改修前	・外周部：コンクリート打放し仕上 樹脂モルタル下地処理仕上【高圧水洗い・清掃】	g	改修前	・ステンレス金物【既設利用】 ・VP-100φ 【塗装下地調整RC種】	k	改修前	・既存外用防火ライト下地 外装薄塗材吹付【水洗い・清掃】 ・既存目地部シーリング無し
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損部補修）【新設】 ・外周部：樹脂モルタル3.0t【新設】		改修後	・既設100φ用ステンレス金物【磨き・清掃】 ・既設VP-100φ DP塗装塗料 B-1種【新設】		改修後	・外装薄塗材吹付【新設】 ・目地部シーリング ポリウレタン系（PU-2） 10×10程度【新設】
d	改修前	・軒天井：コンクリート打放し下地 外装薄塗材 E【高圧水洗い・清掃】	h	改修前	・アルミサッシ 見込み60【撤去・処分】（枠部分は残す）（建具配置図・建具表参照） ・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【既存のまま】	k	改修後	・施工に先立ち、事前調査（目視・打診等）を実施し、報告書及び施工計画書を作成後監督員と協議を行い、承認を得て施工すること 事前調査範囲は、設計図書を基に、監督員と協議し確認すること。 ・既設設備関係部分の養生作業及び改修施工に於いて困難な場合は、監督員と協議して施工を行う事。 ※設計では、既設設備関係の専用シートによる養生数量を約113㎡程度見込んでいます。
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・軒天井：外装薄塗材 E ローラー仕上【新設】		改修後	・アルミサッシかぶせ工法にて改修【新設】（建具配置図・建具表参照） ・アルミ二重水切り【新設】			

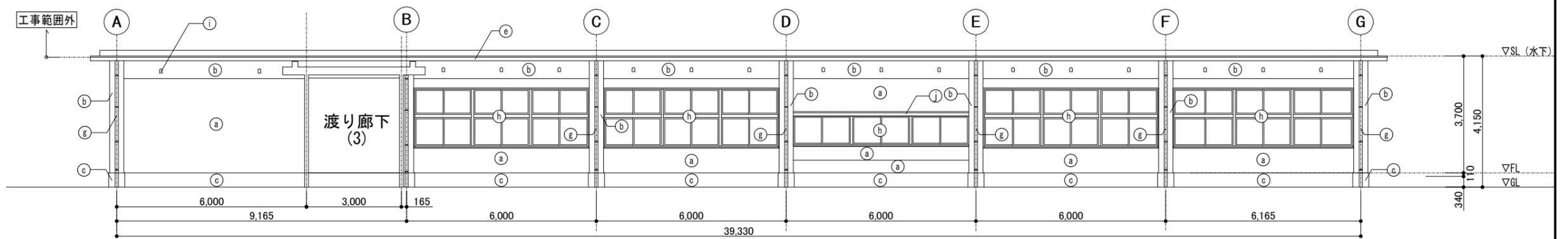
松岡設計室 鳥取県知事 登録番号 03-1333 管理建築士（一級建築士登録番号236773号）松岡 稔

TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事 (改修図) 教室棟1 立面図	1/100		2025.09	A - 07

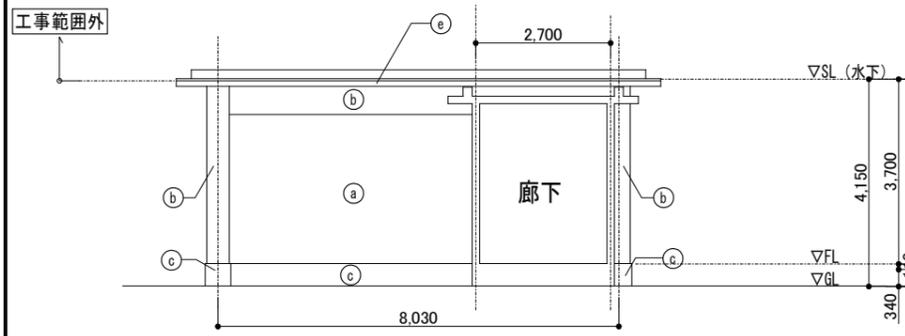
鳥取県 令和7年度 J2500239 西部環境建築局



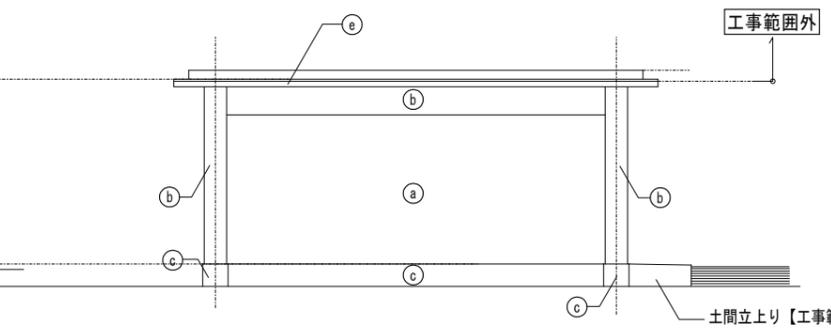
南側立面図 S=1/100



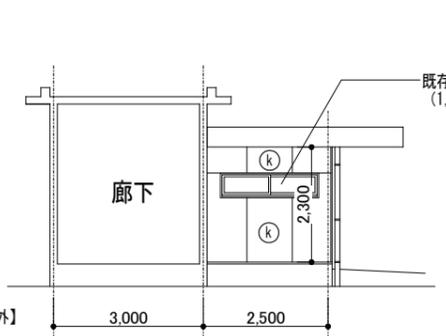
北側立面図 S=1/100



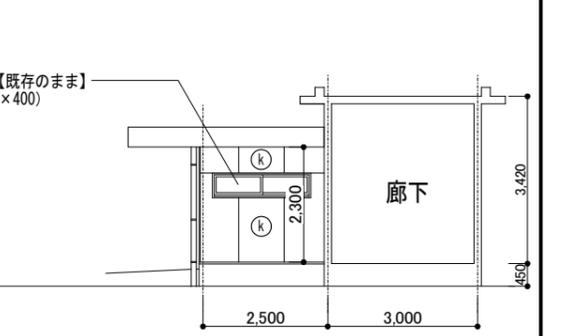
東側立面図 S=1/100



西側立面図 S=1/100

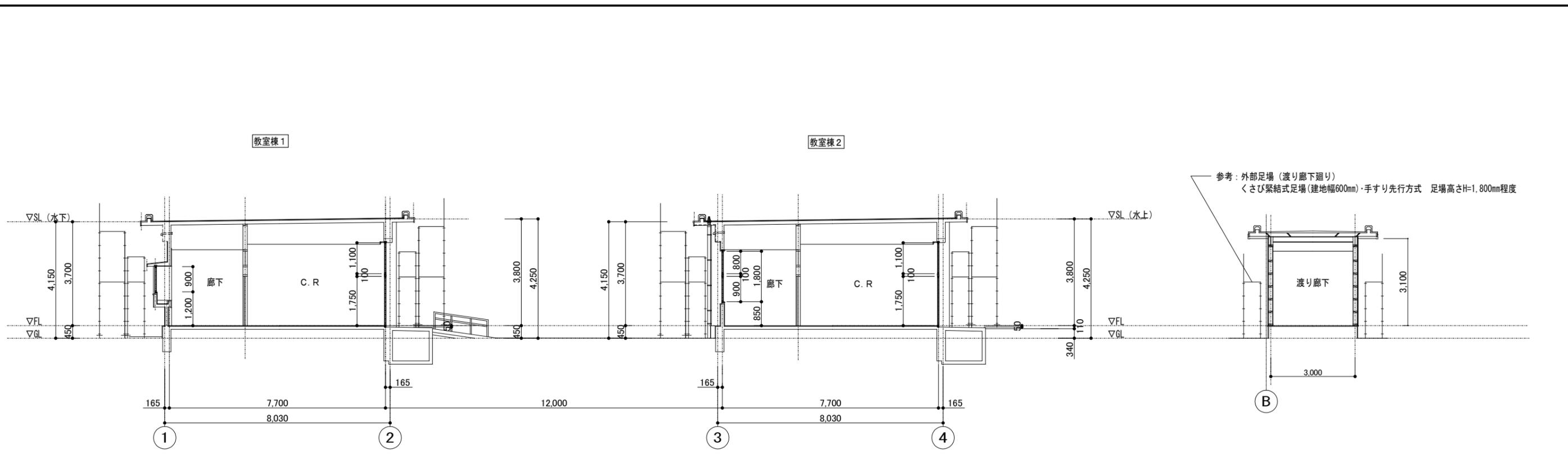


渡り廊下物置北側立面図 S=1/100



渡り廊下物置南側立面図 S=1/100

記号		改修前	改修後	改修内容	記号	改修前	改修後	改修内容	記号	改修前	改修後	改修内容
外壁	a	改修前	改修後	・コンクリート打放し モルタル塗り下地 複層塗材 E【高圧水洗い・清掃】	e	改修前	改修後	・防水モルタル塗り 弾性複層塗材【高圧水洗い・清掃】	i	改修前	改修後	・塩ビ製パイプ50φ【既存のまま】 教室棟1：南面：17か所、北面：17か所 教室棟2：南面：17か所、北面：17か所 ・周囲シリング【撤去】
	b	改修前	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】	f	改修前	改修後	・下地補修（亀裂・浮き・欠損部補修）【新設】・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】 ・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】	j	改修前	改修後	・周囲シリング【打替え】：ポリウレタン系（PU-2）・幅15mm程度
柱型・梁型	c	改修前	改修後	・コンクリート打放し下地 弾性複層塗材【高圧水洗い・清掃】	g	改修前	改修後	・化粧目地【既存のまま】	k	改修前	改修後	・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【ケレン・清掃】
	d	改修前	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】	h	改修前	改修後	・シーリング【新設】※化粧目地：ポリウレタン系（PU-2） 25×10程度	l	改修前	改修後	・下地補修（亀裂・浮き補修）【新設】 ・水切り：下地調整（ポリマーセメントペースト）【新設】ウレタン塗膜防水 X-2【新設】
基礎（根廻り）	e	改修前	改修後	・外周部：コンクリート打放し仕上 樹脂モルタル3.0t【新設】	g	改修前	改修後	・スチルス組み金物【既設利用】 ・VP-100φ 【塗装下地調整RC種】	k	改修前	改修後	・既存外用防火ライト下地 外装薄塗材吹付【水洗い・清掃】 ・既存目地部シーリング無し
	f	改修前	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・外周部：樹脂モルタル3.0t【新設】	h	改修前	改修後	・既設100φ用ステンレス組み金物【磨き・清掃】 ・既設VP-100φ DP塗装塗料 B-1種【新設】	l	改修前	改修後	・外装薄塗材E吹付【新設】 ・目地部シーリング ポリウレタン系（PU-2） 10×10程度【新設】
軒天井	g	改修前	改修後	・軒天井：コンクリート打放し下地 外装薄塗材 E【高圧水洗い・清掃】	i	改修前	改修後	・アルミサッシ 見込み60【撤去・処分】（枠部分は残す）（建具配置図・建具表参照） ・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【既存のまま】	m	改修前	改修後	・施工に先立ち、外壁劣化状況の事前調査（目視程度）を実施し報告書を作成後、監督員と協議の上、承認を得て施工を行う事。 ・既設設備関係部分の養生作業及び改修施工に於いて困難な場合は、監督員と協議して施工を行う事。 ※設計では、既設設備関係の専用シートによる養生数量を約113㎡程度見込んでいる。
	h	改修前	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・軒天井：外装薄塗材 E ローラー仕上【新設】	j	改修前	改修後	・アルミサッシかぶせ工法にて改修【新設】（建具配置図・建具表参照） ・アルミニウム重水切り【新設】	n	改修前	改修後	

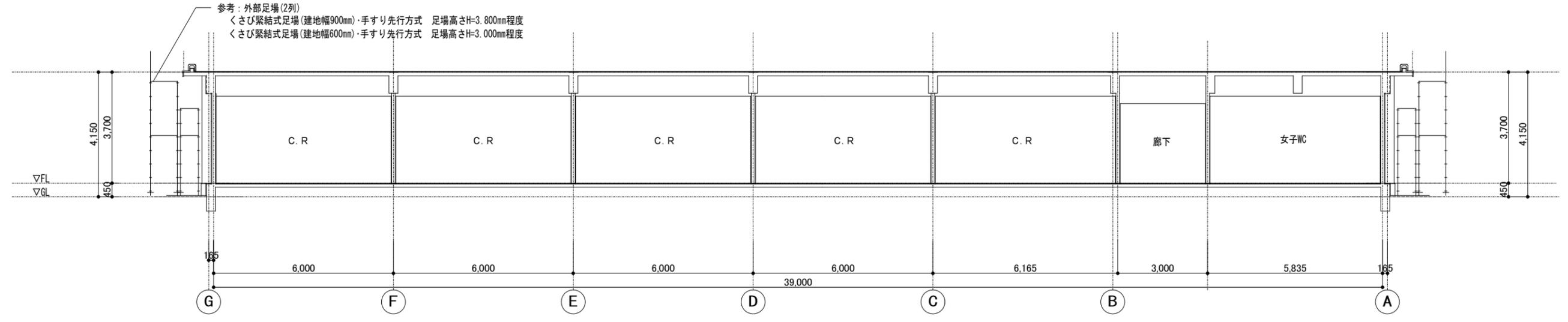
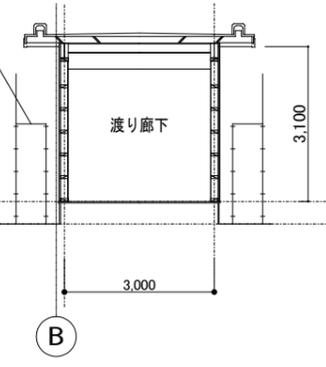


B-E断面図 S=1/100

A-E断面図 S=1/100

D-D断面図 S=1/100

参考：外部足場（渡り廊下廻り）
くさび緊結式足場（建地幅600mm）・手すり先行方式 足場高さH=1,800mm程度

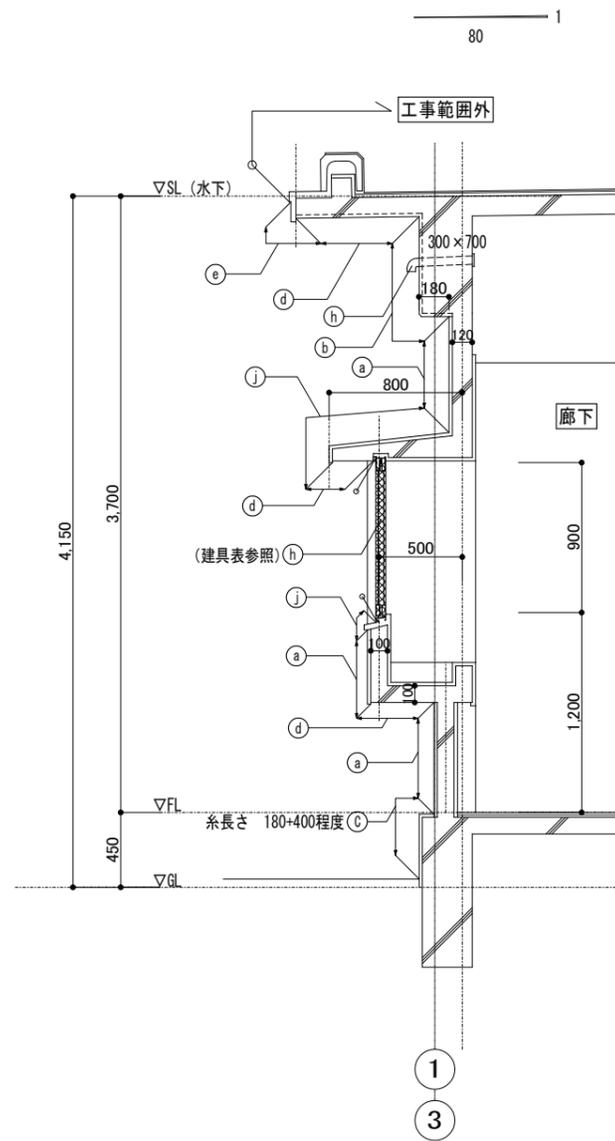


参考：外部足場（2列）
くさび緊結式足場（建地幅900mm）・手すり先行方式 足場高さH=3,800mm程度
くさび緊結式足場（建地幅600mm）・手すり先行方式 足場高さH=3,000mm程度

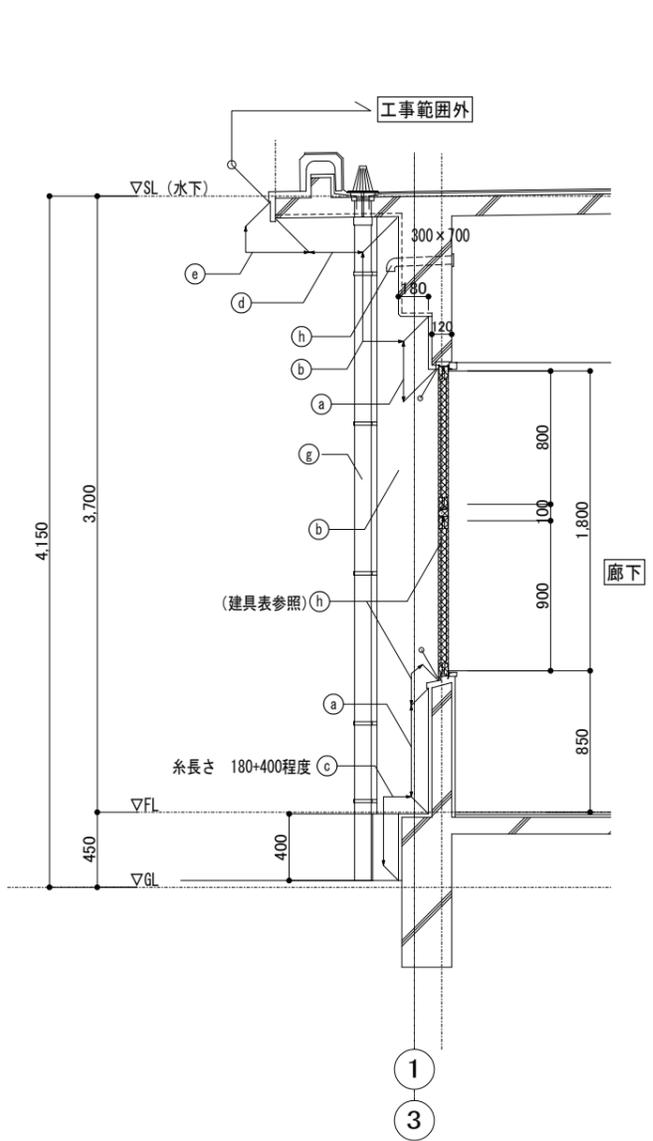
C-C断面図 S=1/100



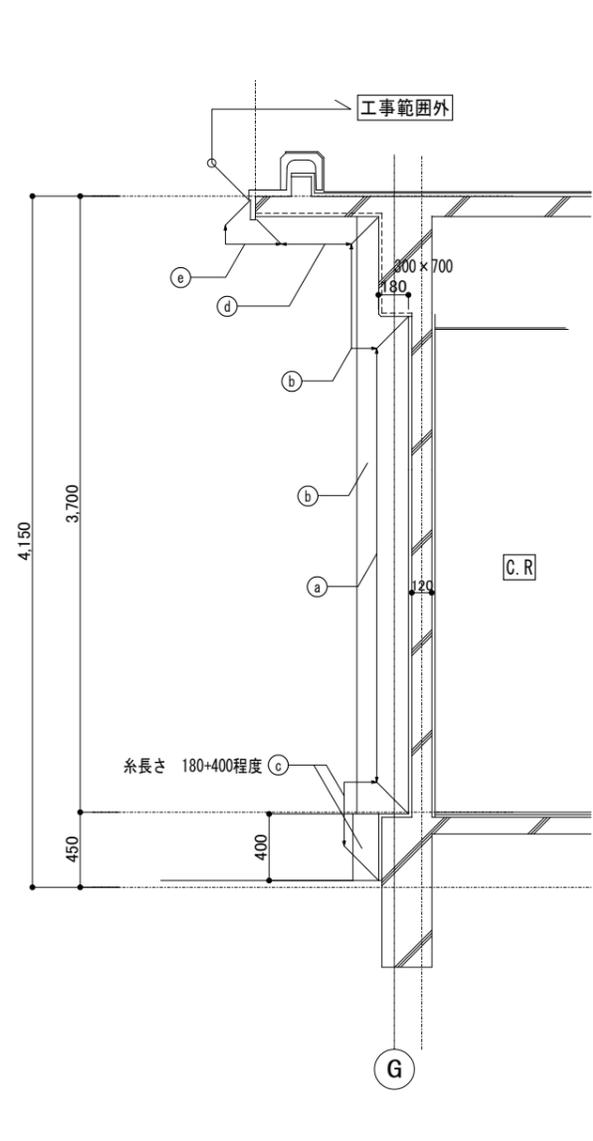
<p>松岡設計室 鳥取県知事 登録番号 03-1333 管理建築士（一級建築士登録番号236773号）松岡 稔</p>		<p>TITLE / SUBJECTS 県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事 (改修図) 断面図</p>	<p>SCALE 1/100</p>	<p>DRAW </p>	<p>DATE 2025.09</p>	<p>DRAW NO. A - 09</p>
---	--	--	------------------------	------------------	-------------------------	----------------------------



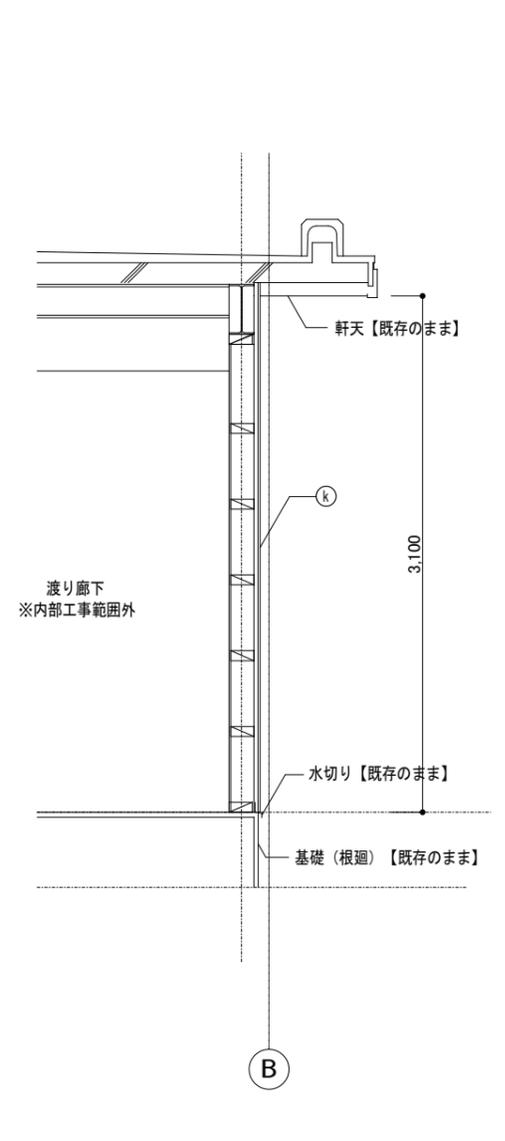
A-A' 断面詳細図 S=1/30



B-B' 断面詳細図 S=1/30



C-C' 断面詳細図 S=1/30



D-D' 断面詳細図 S=1/30

仕上凡例

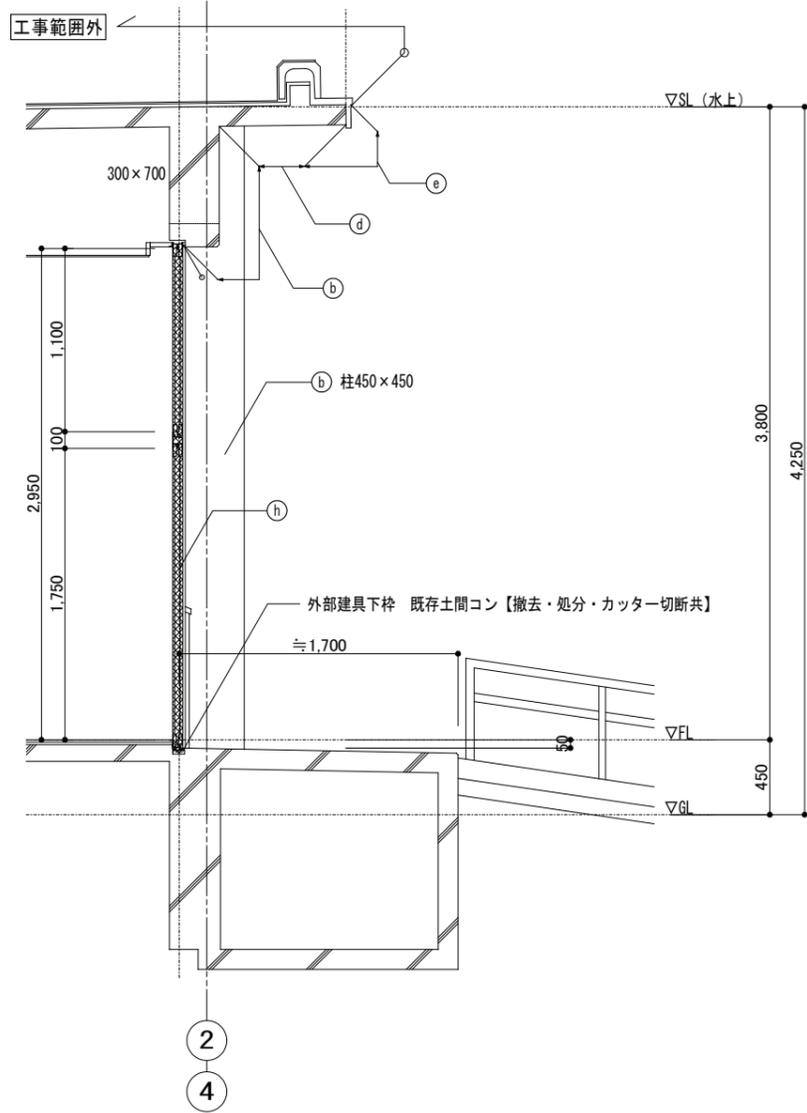
記号	改修前 改修後	改修内容	記号	改修前 改修後	改修内容	記号	改修前 改修後	改修内容
a	改修前	・コンクリート打放し モルタル塗り下地 複層塗材 E【高圧水洗い・清掃】	e	改修前	・防水モルタル塗り 弾性複層塗材【高圧水洗い・清掃】	i	改修前	・塩ビ製パイプ50φ【既設のまま】 教室棟1：南面・17か所、北面・17か所 教室棟2：南面・17か所、北面・17か所 ・周囲シーリング【撤去】
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・下地補修（亀裂・浮き・欠損部補修）【新設】・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】 ・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・周囲シーリング【打替え】：ポリウレタン系（PU-2）・15×10程度
b	改修前	・コンクリート打放し下地 弾性複層塗材【高圧水洗い・清掃】	f	改修前	・化粧目地【既存のまま】	j	改修前	・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【ケレン・清掃】
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・シーリング【新設】※化粧目地：ポリウレタン系（PU-2） 25×10程度		改修後	・下地補修（亀裂・浮き補修）【新設】 ・水切り：下地調整（ポリマーセメントペースト）【新設】後、ウレタン塗膜防水 X-2【新設】
c	改修前	・外周部：コンクリート打放し仕上 樹脂モルタル下地処理仕上【高圧水洗・清掃】	g	改修前	・ステンレス金物【既設利用】 ・VP-100φ 【塗装下地調整RC種】	k	改修前	・既存外装用防火ライト下地 外装薄塗材吹付【水洗い・清掃】 ・既存目地部シーリング無し
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損補修）【新設】 ・外周部：樹脂モルタル3.0t【新設】		改修後	・既設100φ用ステンレス金物【磨き・清掃】 ・既設VP-100φ DP塗装塗り B-1種【新設】		改修後	・外装薄塗材E吹付【新設】 ・目地部シーリング ポリウレタン系（PU-2） 10×10程度【新設】
d	改修前	・軒天井：コンクリート打放し下地 外装薄塗材 E【高圧水洗い・清掃】	h	改修前	・アルミサッシ 見込み60【撤去・処分】（枠部分は残す）（建具配置図・建具表参照） ・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【既存のまま】	・施工に先立ち、外壁劣化状況の事前調査（目視程度）を実施し報告書を作成後、監督員と協議の上、承認を得て施工を行う事。 ・既設設備関係部分の養生作業及び改修施工に於いて困難な場合は、監督員と協議して施工を行う事。 ※設計では、既設設備関係の専用シートによる養生数量を約113m程度見込んでいる。		
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・軒天井：外装薄塗材 E ローラー仕上【新設】		改修後	・アルミサッシかぶせ工法にて改修【新設】（建具配置図・建具表参照） ・アルミ二重水切り【新設】			



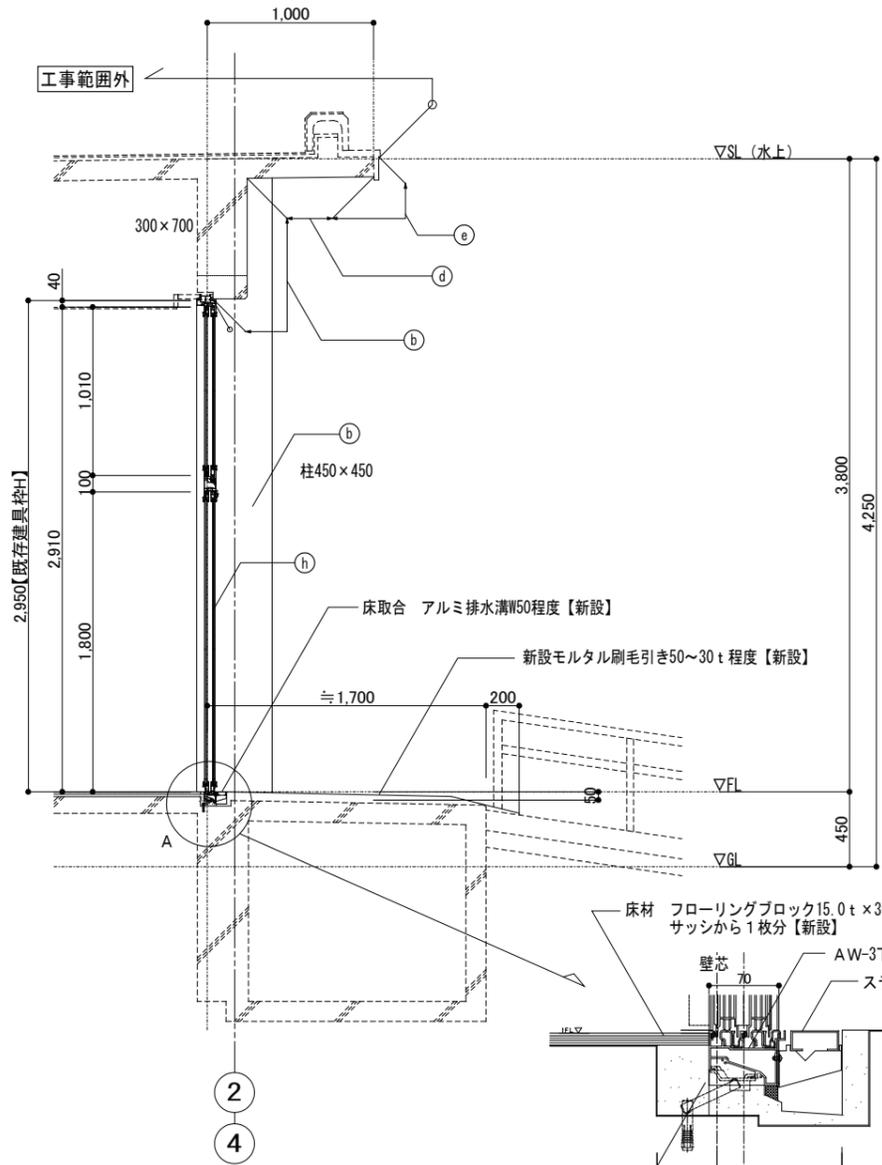
松岡設計室 鳥取県知事 登録番号 03-1333 管理建築士（一級建築士登録番号236773号）松岡 稔

TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事 (改修図) 断面詳細図 (1)	1/30		2025.09	A - 10

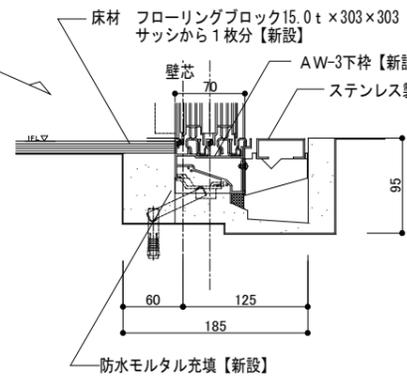
図面縮小率 A3 70.7%



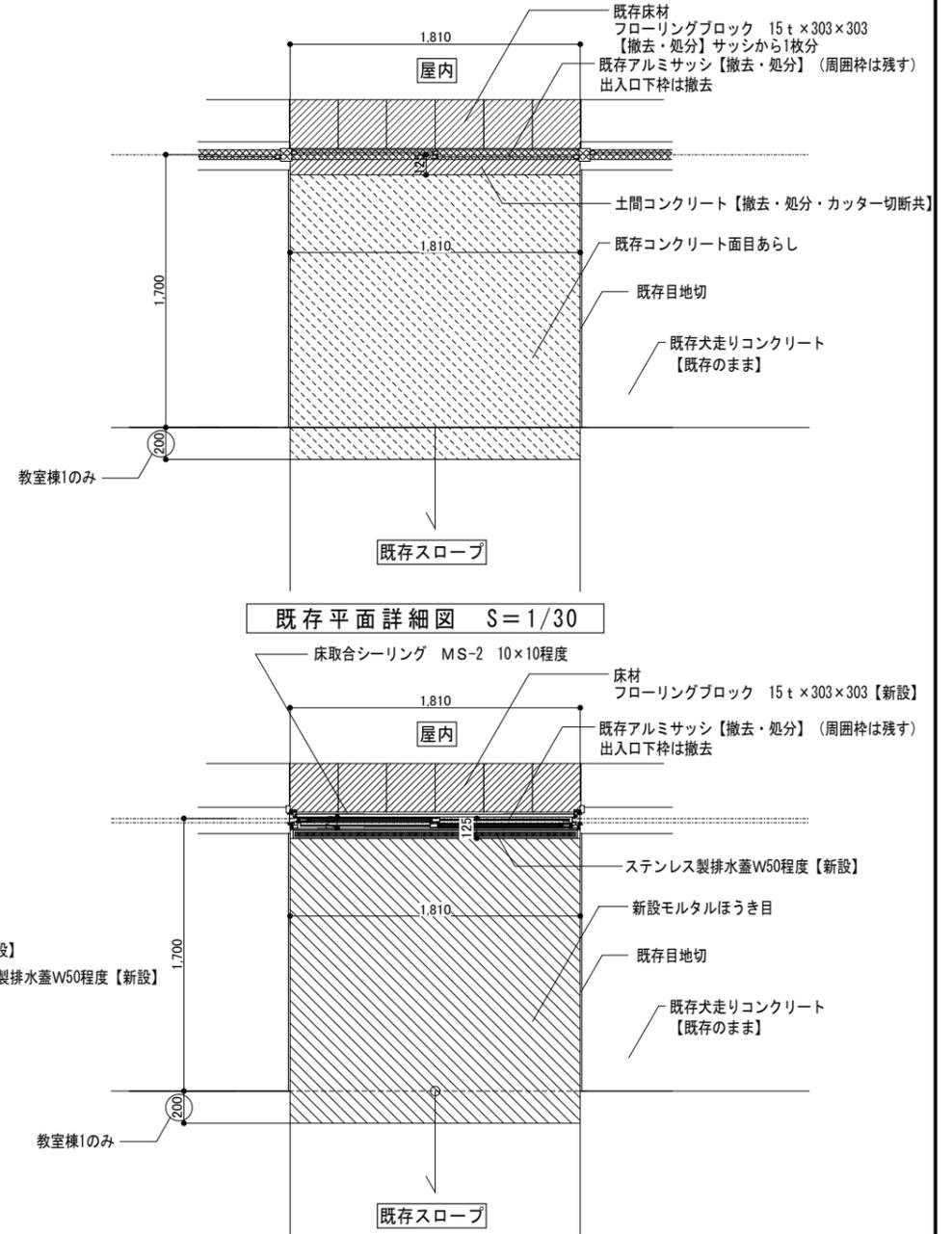
(改修前) D-D' 断面詳細図 S=1/30



(改修後) D-D' 断面詳細図 S=1/30



A部分詳細図 S=1/5

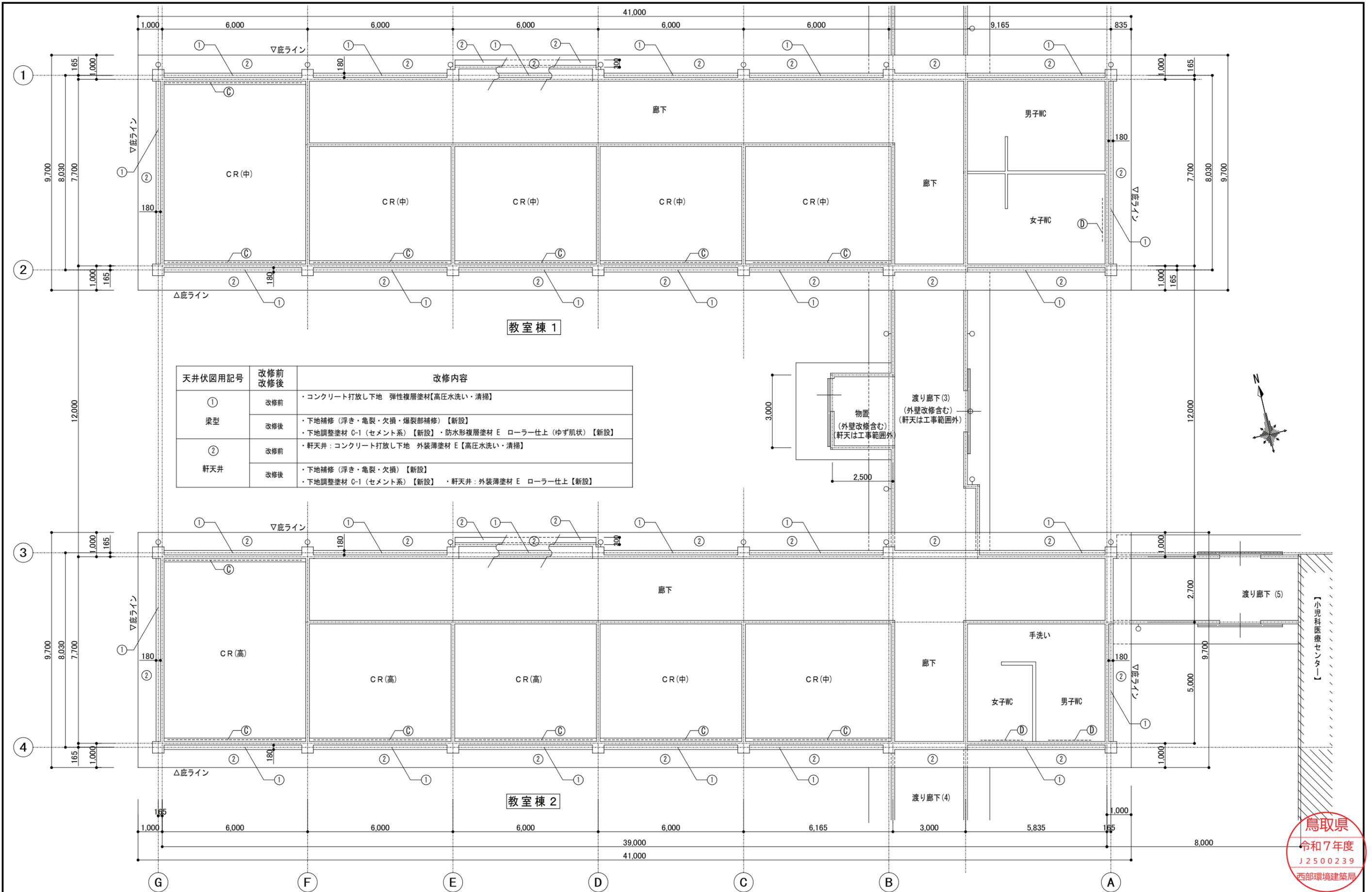


改修後平面詳細図 S=1/30

仕上凡例

記号	改修前 改修後	改修内容	記号	改修前 改修後	改修内容	記号	改修前 改修後	改修内容
a	改修前	・コンクリート打放し モルタル塗り下地 複層塗材 E【高圧水洗い・清掃】	e	改修前	・防水モルタル塗り 弾性複層塗材【※・清掃】	i	改修前	・塩ビ製パイプ50φ【既設のまま】 教室棟1：南面：17か所、北面：17か所 教室棟2：南面：17か所、北面：17か所
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・下地補修（亀裂・浮き・欠損部補修）【新設】・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】 ・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・周囲シリング【撤去】 ・周囲シリング【打替え】：ポリウレタン系（PU-2）・幅15mm程度
b	改修前	・コンクリート打放し下地 弾性複層塗材【高圧水洗い・清掃】	f	改修前	・化粧目地【既存のまま】	j	改修前	・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【ケレン・清掃】
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・防水形複層塗材 E ローラー仕上（ゆず肌状）【新設】		改修後	・シーリング【新設】※化粧目地：ポリウレタン系（PU-2） 25x10程度		改修後	・下地補修（亀裂・浮き補修）【新設】 ・水切り：下地調整（ポリマーセメントペースト）【新設】後、ウレタン塗膜防水 X-2【新設】
c	改修前	・外周部：コンクリート打放し仕上 樹脂モルタル3.0t【新設】	g	改修前	・ステンレス金物【既設利用】 ・VP-100φ 【塗装下地調整RC種】	k	改修前	・既存外用防火ライト下地 外装薄塗材吹付【水洗い・清掃】 ・既存目地部シーリング無し
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損部補修）【新設】 ・外周部：樹脂モルタル3.0t【新設】		改修後	・既設100φ用ステンレス金物【磨き・清掃】 ・既設VP-100φ DP塗装塗り B-1種【新設】		改修後	・外装薄塗材E吹付【新設】 ・目地部シーリング ポリウレタン系（PU-2） 10x10程度【新設】
d	改修前	・軒天井：コンクリート打放し下地 外装薄塗材 E【高圧水洗い・清掃】	h	改修前	・アルミサッシ 見込み60【撤去・処分】（枠部分は残す）（建具配置図・建具表参照） ・水切り：防水モルタル塗り 塗膜防水【既存のまま】	・施工に先立ち、外壁劣化状況の事前調査（目視程度）を実施し報告書を作成後、監督員と協議の上、承認を得て施工を行う事。 ・既設設備関係部分の養生作業及び改修施工に於いて困難な場合は、監督員と協議して施工を行う事。 ※設計では、既設設備関係の専用シートによる養生数量を約113m程度見込んでいる。		
	改修後	・下地補修（浮き・亀裂・欠損・爆裂部補修）【新設】 ・下地調整塗材 C-1（セメント系）【新設】・軒天井：外装薄塗材 E ローラー仕上【新設】		改修後	・アルミサッシかぶせ工法にて改修【新設】（建具配置図・建具表参照） ・アルミ二重水切り【新設】			





<凡例> (平面図の凡例に準ずる)
 ①カーテン【取外し・再取付】
 ②ブラインド【取外し・再取付】

図面縮小率 A3 70.7%

松岡設計室 鳥取県知事 登録番号 03-1333
 管理建築士 (一級建築士登録番号236773号) 松岡 稔

TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事 (改修図) 天井伏図	1/100		2025.09	A - 12

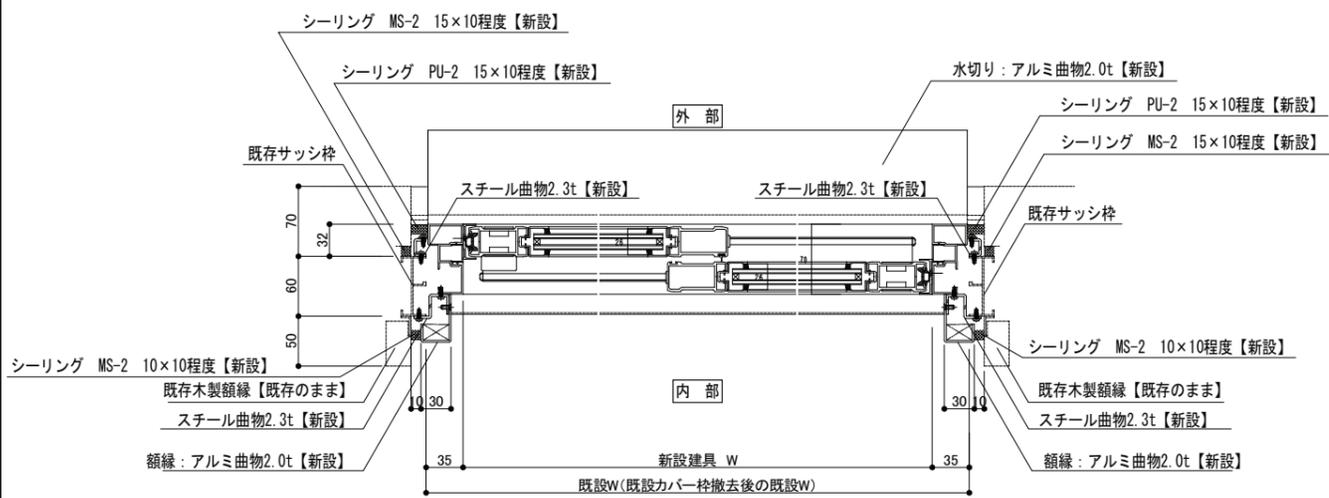
鳥取県
 令和7年度
 J2500239
 西部環境建築局

既存建具表 S=1/100

符号	名称	位置	1 AW	2 AW	3 AW	4 AW	5 AW						
			2段引違窓	男子・女子便所	2段3連引違窓	廊下・CR	ランマ3連窓+両袖引違窓付引き違戸	CR	2段2連引違窓	廊下	3連引違窓	廊下	
			※かぶせ工法にて改修、既存枠を残しあとは全て撤去			※かぶせ工法にて改修、既存枠を残しあとは全て撤去			※かぶせ工法にて改修、既存枠を残しあとは全て撤去			※かぶせ工法にて改修、既存枠を残しあとは全て撤去	
	戸柄												
材種	見込	数量	アルミサッシ 見込み 60	4ヶ所	アルミサッシ 見込み 60	8ヶ所	アルミサッシ 見込み 60	10ヶ所	アルミサッシ 見込み 60	1ヶ所	アルミサッシ 見込み 60	2ヶ所	
ガラス	仕上げ		すりガラス 3t【撤去・処分】 ガスケット共		トーメイガラス 3t【撤去・処分】 ガスケット共		トーメイガラス 3t【撤去・処分】 ガスケット共		すりガラス 3t【撤去・処分】 ガスケット共		トーメイガラス 3t【撤去・処分】 ガスケット共		
金物	その他		クレセント、無目【撤去・処分】 既存建具周囲シーリング20×10程度【撤去・処分】		クレセント、無目、方立、網戸（樹脂製ネット）【撤去・処分】 既存建具周囲シーリング20×10程度【撤去・処分】		クレセント、無目、方立、網戸（樹脂製ネット）腰7â裨【撤去・処分】 下枠【撤去・処分】 既存建具周囲シーリング20×10程度【撤去・処分】 外部一部土間コンクリート【カッター切断・研り・撤去・処分】		クレセント 網戸（樹脂製ネット）【撤去・処分】 既存建具周囲シーリング20×10程度【撤去・処分】		クレセント【撤去・処分】 既存建具周囲シーリング20×10程度【撤去・処分】		

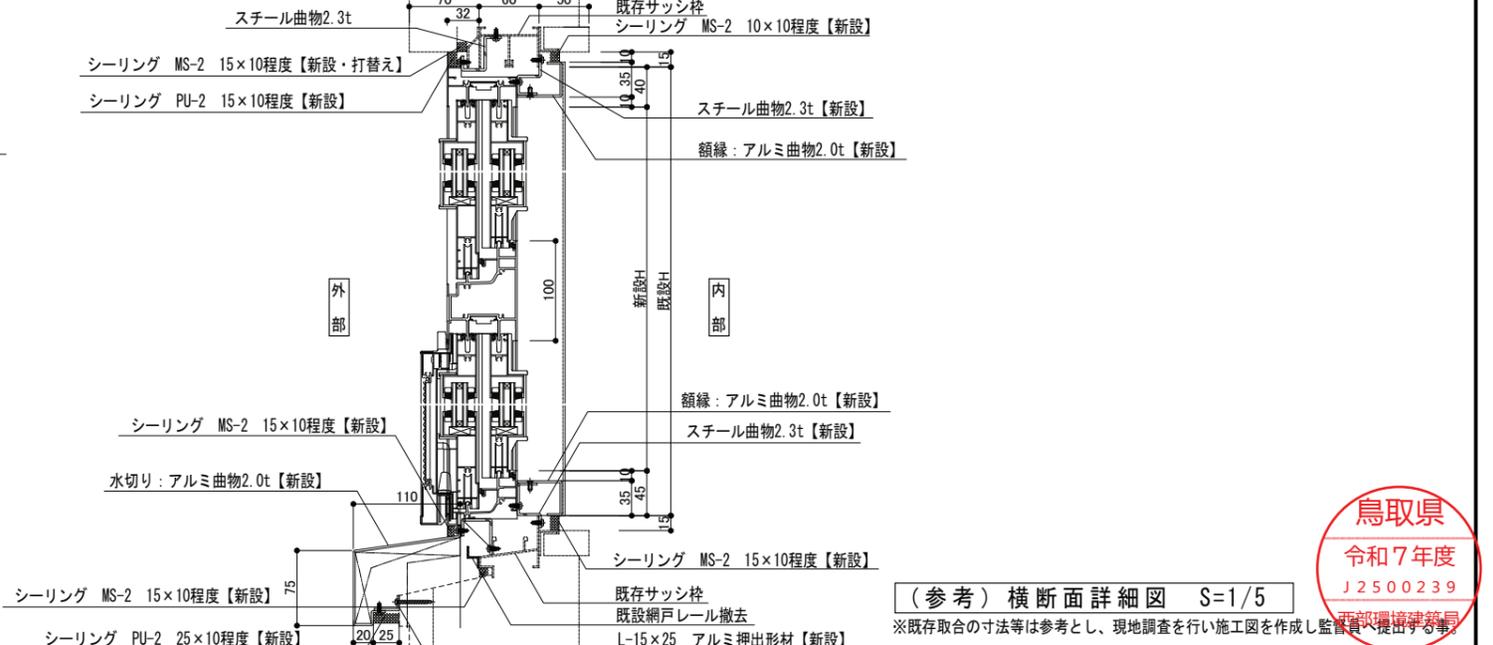
改修後建具表 S=1/100

符号	名称	位置	1 AW	2 AW	3 AW	4 AW	5 AW					
			2段引違窓	男子・女子便所	2段3連引違窓	廊下・CR	ランマ3連窓+両袖引違窓付引き違戸	CR	2段2連引違窓	廊下	3連引違窓	廊下
材種	見込	数量	アルミサッシ（かぶせ工法）シルバー【新設】 見込み70	4ヶ所	アルミサッシ（かぶせ工法）【新設】 見込み70	8ヶ所	アルミサッシ（かぶせ工法）【新設】 見込み70	10ヶ所	アルミサッシ（かぶせ工法）【新設】 見込み70	1ヶ所	アルミサッシ（かぶせ工法）【新設】 見込み70	2ヶ所
ガラス	仕上げ		IG(Low-E T4.0+A6.0+F4.0)【新設】 透明飛散防止ガラスフィルム貼り（UVカット）F用		IG(Low-E T4.0+A6.0+T4)【新設】 透明飛散防止ガラスフィルム貼り（UVカット）		IG(Low-E T4.0+A6.0+T4)【新設】 透明飛散防止ガラスフィルム貼り（UVカット）		IG(Low-E T4.0+A6.0+F4.0)【新設】 透明飛散防止ガラスフィルム貼り（UVカット）F用		IG(Low-E T4.0+A6.0+T4)【新設】 透明飛散防止ガラスフィルム貼り（UVカット）	
金物	その他		無目・クレセント（抗菌仕様）【新設】 樹脂網戸（0.9mm角程度）【新設】・その他一式【新設】 既設サッシ周囲枠部分【既設利用】・アルミ額縁（4方）【新設】・二重水切り【新設】 建具周囲シーリング（PU-2）【新設】 既存建具周囲シーリング（MS-2）【新設】		方立・無目・クレセント（抗菌仕様）【新設】 樹脂網戸（0.9mm角程度）【新設】・その他付属部品一式【新設】 既設サッシ周囲枠部分【既設利用】・アルミ額縁（4方）【新設】・二重水切り【新設】 建具周囲シーリング（PU-2）【新設】 既存建具周囲シーリング（MS-2）【新設】		方立・無目・クレセント（抗菌仕様）・腰複合アルミバルコ2.0t【新設】 樹脂網戸（0.9mm角程度）【新設】・その他付属部品一式【新設】 既設サッシ周囲枠部分【既設利用】・アルミ額縁（4方）【新設】・二重水切り【新設】 建具周囲シーリング（PU-2）【新設】 既存建具周囲シーリング（MS-2）【新設】 下枠ステンレス		無目・クレセント（抗菌仕様）【新設】 樹脂網戸（0.9mm角程度）【新設】・その他付属部品一式【新設】 既設サッシ周囲枠部分【既設利用】・アルミ額縁（4方）【新設】・二重水切り【新設】 建具周囲シーリング（PU-2）【新設】 既存建具周囲シーリング（MS-2）【新設】		方立・無目・クレセント（抗菌仕様）【新設】 樹脂網戸（0.9mm角程度）【新設】・その他付属部品一式【新設】 既設サッシ周囲枠部分【既設利用】・アルミ額縁（4方）【新設】・二重水切り【新設】 建具周囲シーリング（PU-2）【新設】 既存建具周囲シーリング（MS-2）【新設】	



(参考) 横断面詳細図 S=1/5

※既存取合の寸法等は参考とし、現地調査を行い施工図を作成し監督員へ提出する事。



(参考) 横断面詳細図 S=1/5

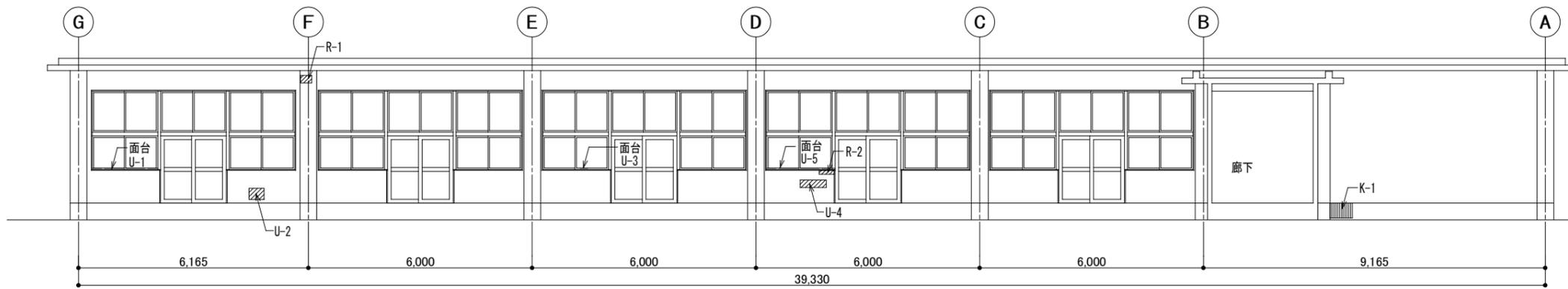
※既存取合の寸法等は参考とし、現地調査を行い施工図を作成し監督員へ提出する事。

特記事項	ガラス符号
※サッシ寸法は参考とし、現地実測にて施工図を作成すること。	FL フロート板ガラス IG 複層ガラス LG 合わせガラス
※サッシ廻りシーリング（PU-2）20×10程度【新設】共通	F 型板ガラス A 空気層 P 複合7â裨
	T 強化ガラス（透明） LOW-E 低放射膜付ガラス 図面縮小率 A3 70.7%

松岡設計室 鳥取県知事 登録番号 03-1333
管理建築士（一級建築士登録番号236773号） 松岡 稔

TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事 (改修図) 建具表・建具部分詳細図	1/5 1/100		2025.09	A - 13



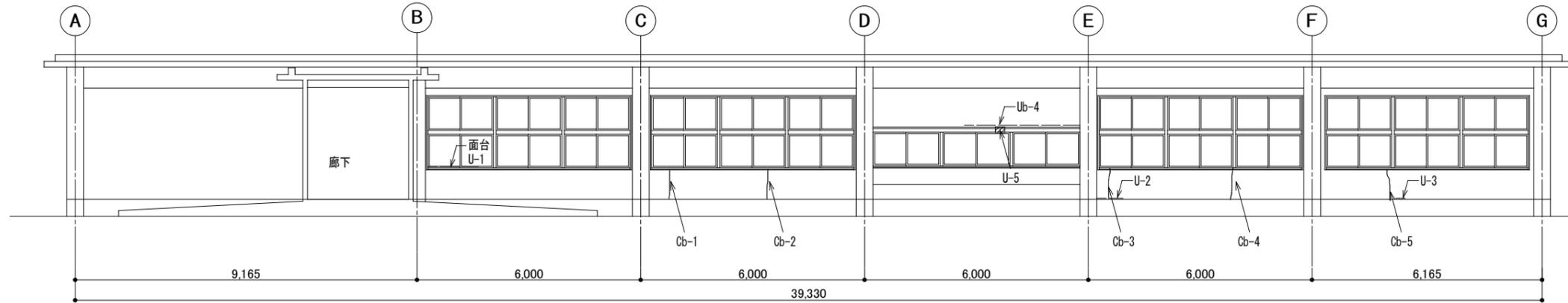


教室棟 1 南側立面図 S=1/100

南面劣化部リスト

＜ひび割れ＞ (m)					＜浮き＞ (m)					
仕上	ひび割れ	面	巾	長さ	仕上	浮き	面	幅	高さ	面積
					M	Ua-1	南			
					M	Ua-2	南	0.4	0.3	0.12
					M	Ua-3	南			
					M	Ua-4	南	0.7	0.2	0.14
					M	Ua-5	南			
合計					Ua					0.26

＜欠損＞ (m)					＜爆裂・鉄筋露出＞ (m)						
仕上	欠損	面	幅	高さ	面積	仕上	露筋	面	幅	高さ	面積
M	K-1	南	0.6	0.4	0.24	C	R-1	南	0.3	0.2	0.06
						M	R-2	南	0.4	0.1	0.04
合計					合計					0.10	

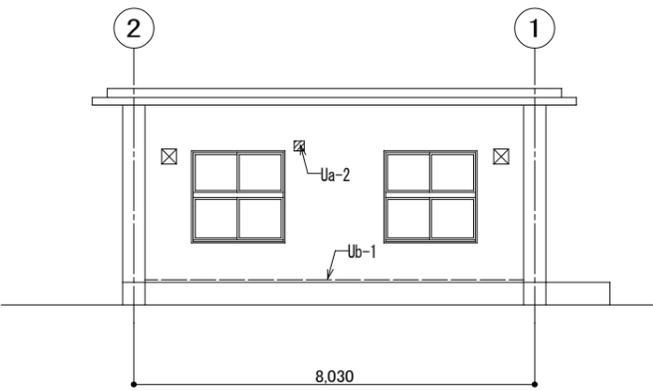


教室棟 1 北側立面図 S=1/100

北面劣化部リスト

＜ひび割れ＞ (m)					＜浮き＞ (m)					
仕上	ひび割れ	面	巾	長さ	仕上	浮き	面	幅	高さ	面積
M	Cb-1	北	0.2	0.9	M	Ua-1	北			
M	Cb-2	北	0.2	1	M	Ua-2	北	0.7	0.15	0.11
M	Cb-3	北	0.2	0.9	M	Ua-3	北	0.3	0.15	0.05
M	Cb-4	北	0.2	0.9	M	Ub-4	北	3.1	0.3	0.93
M	Cb-5	北	0.2	0.9	M	Ua-5	北	0.25	0.15	0.04
合計					Ua					0.20
					Ub					0.93

＜欠損＞ (m)					＜爆裂・鉄筋露出＞ (m)							
仕上	欠損	面	幅	高さ	面積	仕上	露筋	面	幅	高さ	か所	面積
合計					合計					0.00		

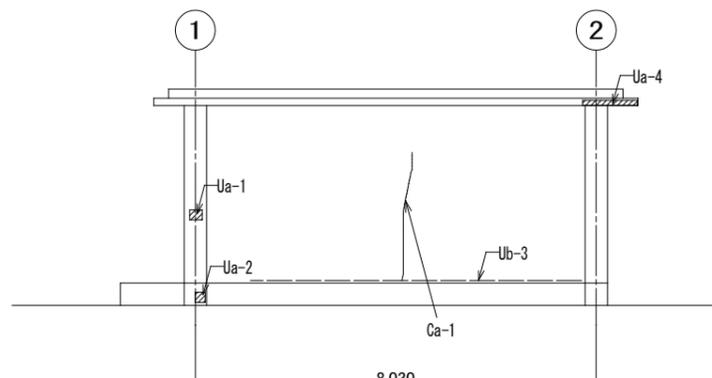


教室棟 1 東側立面図 S=1/100

東面劣化部リスト

＜ひび割れ＞ (m)					＜浮き＞ (m)					
仕上	ひび割れ	面	巾	長さ	仕上	浮き	面	幅	高さ	面積
					M	Ub-1	東	7.5	0.2	1.50
					M	Ua-2	東	0.2	0.2	0.04
合計					Ua					0.04
					Ub					1.50

＜欠損＞ (m)					＜爆裂・鉄筋露出＞ (m)							
仕上	欠損	面	幅	高さ	面積	仕上	露筋	面	幅	高さ	か所	面積
合計					合計					0.00		



教室棟 1 西側立面図 S=1/100

西面劣化部リスト

＜ひび割れ＞ (m)					＜浮き＞ (m)					
仕上	ひび割れ	面	巾	長さ	仕上	浮き	面	幅	高さ	面積
M	Ca-1	西	0.2	2.8	C	Ua-1	西	0.25	0.2	0.05
					M	Ua-2	西	0.2	0.2	0.04
					M	Ub-3	西	0.15	6.7	1.01
					M	Ua-4	西	1.1	0.1	0.11
合計					C-Ua					0.05
					M-Ua					0.15
					Ub					1.01

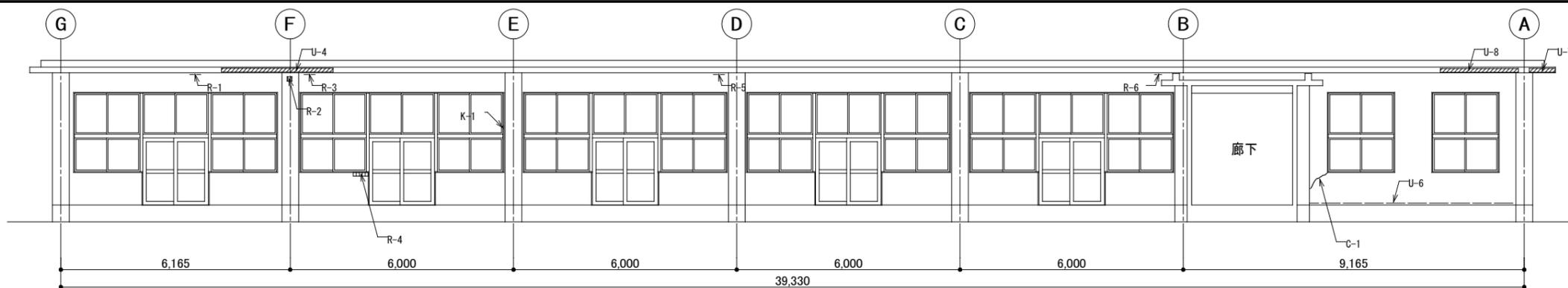
＜欠損＞ (m)					＜爆裂・鉄筋露出＞ (m)							
仕上	欠損	面	幅	高さ	面積	仕上	露筋	面	幅	高さ	か所	面積
合計					合計					0.00		

【コンクリート面・外壁、軒天劣化数量 (参考)】				【モルタル面・外壁劣化数量 (参考)】					
	Ua※	浮き0.25未満	7カーベニング部分球*杉樹脂注入工法(16本/m)	0.05㎡		Ua※	浮き0.25未満	7カーベニング部分球*杉樹脂注入工法(16本/m)	0.65㎡
	Ub※	浮き部(0.25㎡以上)	7カーベニング全面球*杉樹脂注入工法(13本/m)			Ub※	浮き部(0.25㎡以上)	7カーベニング全面球*杉樹脂注入工法(13本/m)	3.44㎡
	Ca※	ひび割れ部(0.2mm~1.0mm以下)	自動式低圧樹脂注入工法 球*杉樹脂			Ca※	ひび割れ部(0.2mm~1.0mm以下)	自動式低圧樹脂注入工法 球*杉樹脂	2.8m
	Cb※	ひび割れ1.0mm以上	Uカットシール材注入工法可とう性球*杉樹脂			Cb※	ひび割れ1.0mm以上	Uカットシール材注入工法可とう性球*杉樹脂	4.6m
	R※	欠損部(鉄筋露出)	球*杉樹脂モルタル充填工法(防錆処理共)	0.06㎡		R※	欠損部(鉄筋露出)	球*杉樹脂モルタル充填工法(防錆処理共)	0.04㎡
	K※	欠損部(浅い欠損)	充填工法*リペアメントモルタル			K※	欠損部(浅い欠損)	充填工法*リペアメントモルタル	0.24㎡

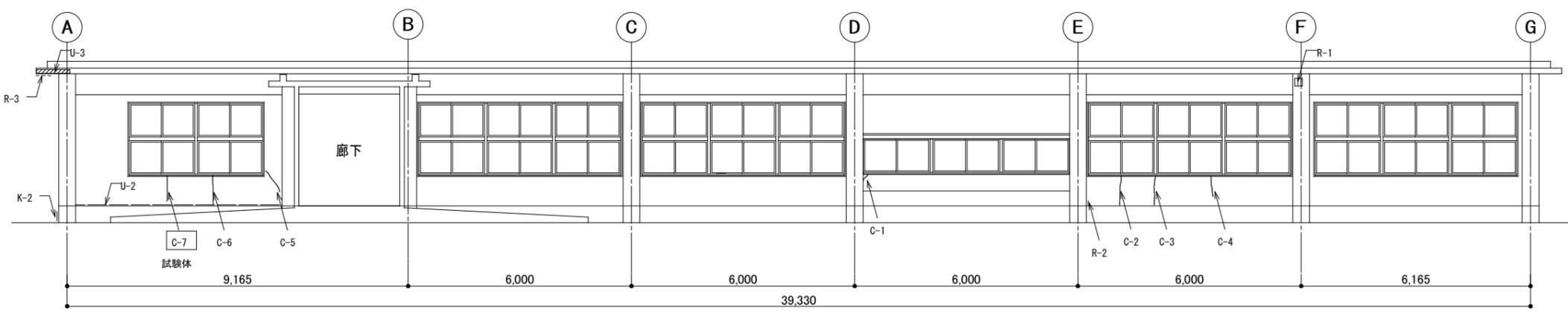
仕上凡例
M モルタル下地(外壁、基礎、面台等)、複層塗材 E 等仕上
C コンクリート打放下地 複層塗材 E

※サッシ防水モルタル塗り水切り部(面台)については、新設アルミ水切りを施工するにあたり、劣化補修は行わず、報告書及び施工計画書を作成後、監督員と協議の上承認を得る。

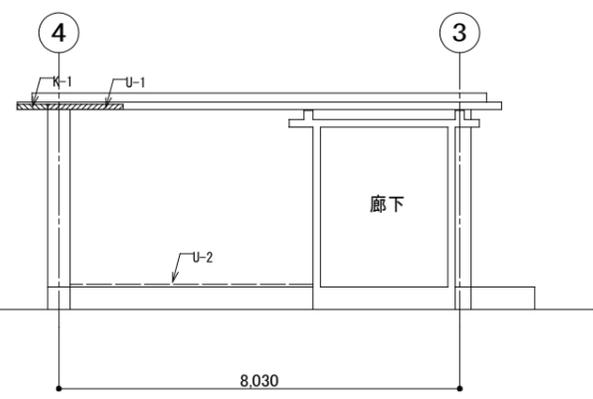
令和7年度
J2500239
西部環境建築局



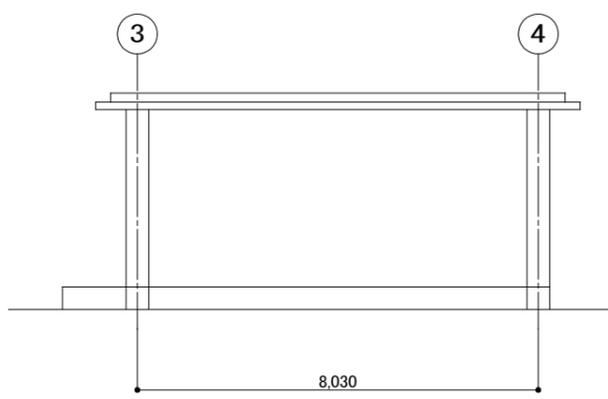
教室棟 2 南側立面図 S=1/100



教室棟 2 北側立面図 S=1/100



教室棟 2 東側立面図 S=1/100



教室棟 2 西側立面図 S=1/100

南面劣化部リスト

＜ひび割れ＞				(m)	
下地	ひび割れ	面	巾	長さ	
M	C-1	南	0.2	0.7	
合計				0.7	

＜浮き＞						(m)	
下地	浮き	面	幅	高さ	面積		
M	Ua-1	南					
M	Ua-2	南					
M	Ua-3	南					
M	Ua-4	南	3	0.1	0.30		
M	Ua-5	南	6.5	0.15	0.98		
M	Ua-7	南	0.7	0.1	0.07		
M	Ua-8	南	2.1	0.1	0.21		
合計					Ua	0.58	
合計					Ub	0.98	

＜欠損＞						(m)	
下地	欠損	面	幅	高さ	面積		
C	K-1	南	0.1	0.1	0.01		
合計						0.01	

＜爆裂・鉄筋露出＞								(m)	
下地	露筋	面	幅	高さ	か所	面積			
C	R-1	南	0.1	0.1	1	0.010			
C	R-2	南	0.1	0.1	1	0.010			
C	R-3	南	0.3	0.2	1	0.060			
M	R-4	南	0.4	0.1	1	0.040			
C	R-5	南	0.2	0.1	1	0.020			
C	R-6	南	0.05	0.05	1	0.003			
合計						M	0.040		
合計						C	0.103		

北面劣化部リスト

＜ひび割れ＞				(m)	
下地	ひび割れ	面	巾	長さ	
M	C-1	北	0.2	0.2	
M	C-2	北	0.2	0.8	
M	C-3	北	0.2	0.9	
M	C-4	北	0.2	0.6	
M	C-5	北	0.2	0.7	
M	C-6	北	0.2	0.9	
M	C-7	北	0.2	0.9	
合計				5.00	

＜浮き＞						(m)	
下地	浮き	面	幅	高さ	面積		
M	Ua-1	北					
M	Ub-2	北	3.70	0.20	0.74		
M	Ua-3	北	0.90	0.10	0.09		
合計					Ua	0.09	
合計					Ub	0.74	

＜欠損＞						(m)	
下地	欠損	面	幅	高さ	面積		
M	K-1	北					
M	K-2	北	0.30	0.20	0.06		
合計						0.06	

＜爆裂・鉄筋露出＞								(m)	
下地	露筋	面	幅	高さ	か所	面積			
C	R-1	北	0.2	0.2	1	0.040			
M	R-2	北	0.05	0.05	1	0.003			
C	R-3	北	0.05	0.05	2	0.005			
合計						M	0.003		
合計						C	0.045		

東面劣化部リスト

＜ひび割れ＞				(m)			
下地	ひび割れ	面	巾	長さ			
合計						0.00	

＜浮き＞						(m)	
下地	浮き	面	幅	高さ	面積		
M	U-1	東	1.5	0.1	0.15		
M	U-2	東	4.8	0.2	0.96		
合計					Ua	0.15	
合計					Ub	0.96	

＜欠損＞						(m)	
下地	欠損	面	幅	高さ	面積		
M	K-1	東	0.6	0.1	0.06		
合計						0.06	

＜爆裂・鉄筋露出＞								(m)			
下地	露筋	面	幅	高さ	か所	面積					
合計										0.000	

西面劣化部リスト

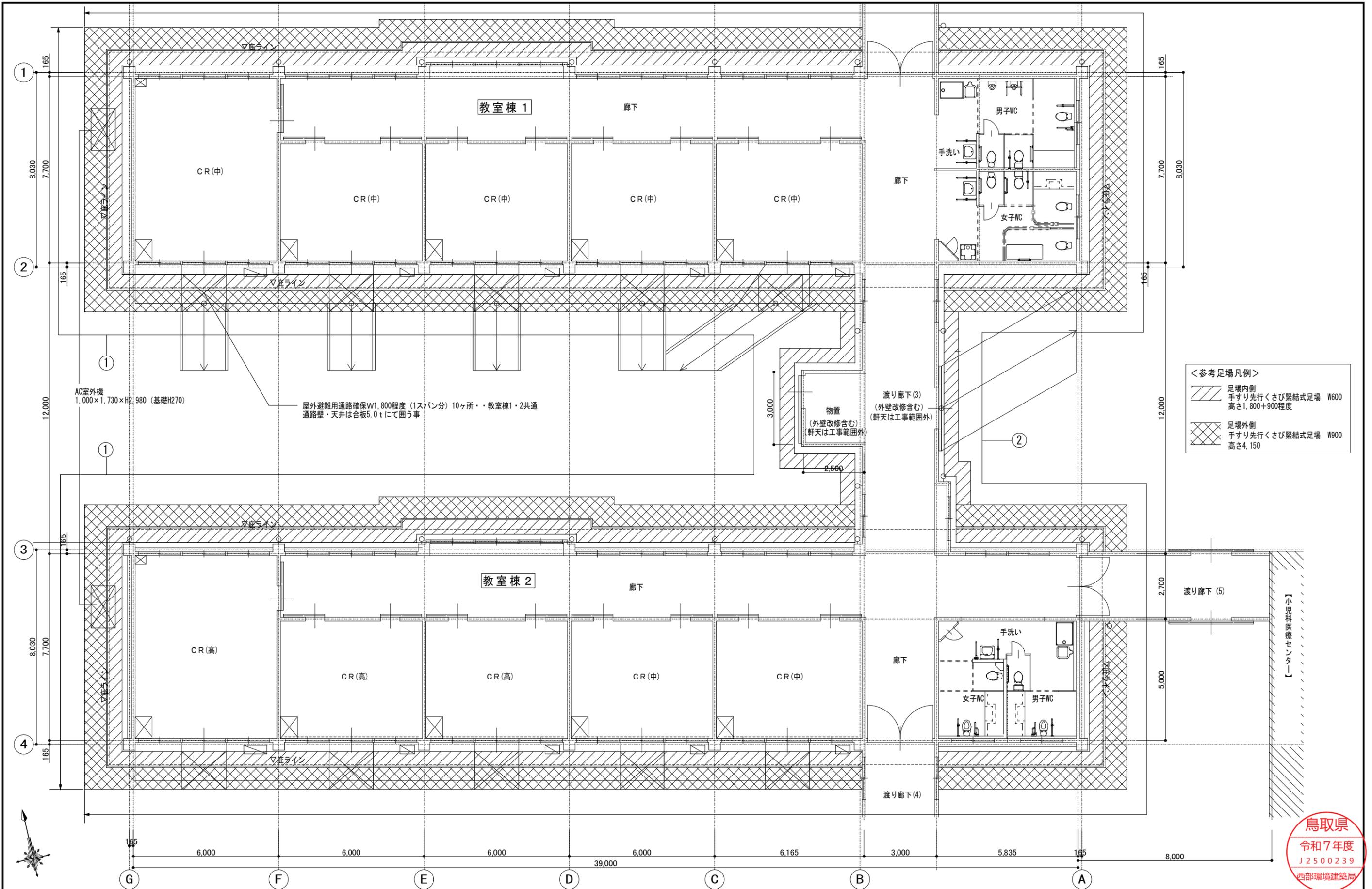
＜ひび割れ＞				(m)			
下地	ひび割れ	面	巾	長さ			
合計						0.00	

＜浮き＞						(m)	
下地	浮き	面	幅	高さ	面積		
合計						0.00	

＜欠損＞						(m)	
下地	欠損	面	幅	高さ	面積		
合計						0.00	

＜爆裂・鉄筋露出＞								(m)			
下地	露筋	面	幅	高さ	か所	面積					
合計										0.00	

【コンクリート面 (C) ・外壁、軒天劣化数量 (参考)】				【モルタル面 (M) ・外壁劣化数量 (参考)】								
	a	Ua-※	浮き0.25m未満	7カーベニング部分球*杉樹脂注入工法(16本/m)		a	Ua-※	浮き0.25m未満	7カーベニング部分球*杉樹脂注入工法(16本/m)	1.17m ²	仕上凡例	
	b	Ub-※	浮き部(0.25m以上)	7カーベニング全面球*杉樹脂注入工法(13本/m)		b	Ub-※	浮き部(0.25m以上)	7カーベニング全面球*杉樹脂注入工法(13本/m)	2.68m ²	M モルタル下地(外壁、基礎、面台等)、複層塗材 E 等仕上	
	a	Ca-※	ひび割れ部(0.2mm~1.0mm以下)	自動式低圧樹脂注入工法 球*杉樹脂		a	Ca-※	ひび割れ部(0.2mm~1.0mm以下)	自動式低圧樹脂注入工法 球*杉樹脂	5.7m	C コンクリート打放し下地 複層塗材 E	
	b	Cb-※	ひび割れ1.0mm以上	Uカットシール材注入工法可とう性球*杉樹脂		b	Cb-※	ひび割れ1.0mm以上	Uカットシール材注入工法可とう性球*杉樹脂		※サッシ防水モルタル塗り水切り部(面台)については、新設アルミ水切りを施工するにあたり、劣化補修は行わない。	
	R-※	R-※	欠損部(鉄筋露出)	球*杉樹脂モルタル充填工法(防錆処理共)	0.148m ²		R-※	欠損部(鉄筋露出)	球*杉樹脂モルタル充填工法(防錆処理共)	0.043m ²	※施工に先立ち、事前調査(目視・打診等)を実施し、報告書及び施工計画書を作成後、監督員と協議の上承認を得る。	
	K-※	K-※	欠損部(浅い欠損)	充填工法*リペアメントモルタル	0.01m ²		K-※	欠損部(浅い欠損)	充填工法*リペアメントモルタル	0.12m ²	令和7年度 J2500239 西部環境建築局	



<参考足場凡例>

- 足場内側
手すり先行くさび緊結式足場 W600
高さ1,800+900程度
- 足場外側
手すり先行くさび緊結式足場 W900
高さ4,150

※施工については全体が暗くならないよう工事を分けて施工を行う事。
 ※図中の施工分けについては参考とし、監督員及び施設側と協議の上決定する事。

図面縮小率 A3 70.7%

松岡設計室 鳥取県知事 登録番号 03-1333
 管理建築士 (一級建築士登録番号236773号) 松岡 稔

TITLE / SUBJECTS	SCALE	DRAW	DATE	DRAW NO.
県立皆生養護学校教室1・2棟外壁ほか改修工事 (参考図) 仮設計画図	1/100		2025.09	A - 17

鳥取県
 令和7年度
 J2500239
 西部環境建築局